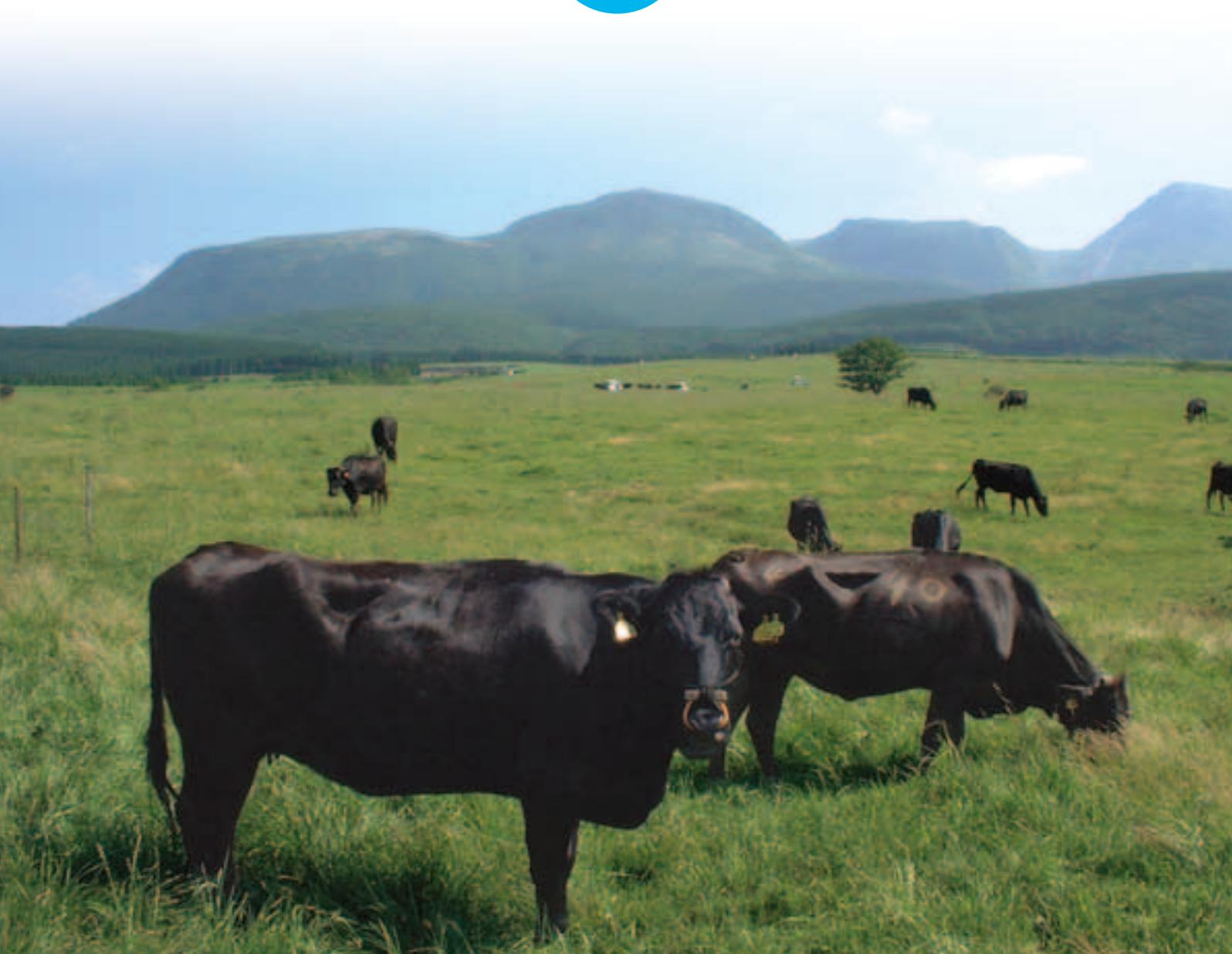


# 大分の畜産

2011



平成23年度

大分県



# 目 次

I 農業及び畜産の概要	
1 農業の概要	1
2 畜産の概要	2
II 家畜別の動き	
1 肉用牛	4
2 乳用牛	8
3 豚	11
4 採卵鶏	14
5 ブロイラー	16
6.地鶏	19
7.生産費と所得の推移	20
III 飼料	22
IV 家畜衛生・畜産環境	25
資料1 畜産関係団体等一覧	27
資料2 畜産関係機関県組織機構	28
資料3 大分県の種雄牛	30
資料4 県内の主要なふれあい牧場	31
資料5 平成23年農林水産部 畜産振興課・家畜衛生飼料室の 主な出来事	34

# I 農業及び畜産の概要

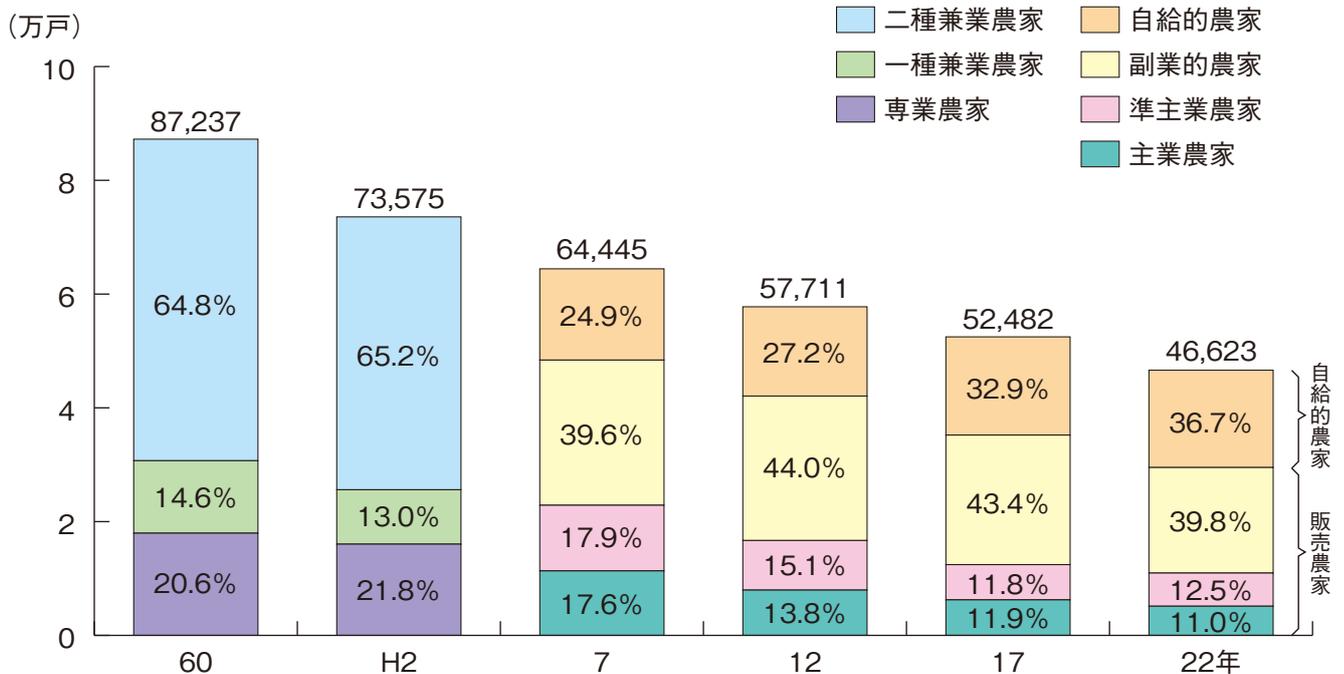
## 1 農業の概要

### (1) 本県農業の位置付け

項目	単位	区分					資料
		大分県	九州	全国	大分/九州(%)	大分/全国(%)	
総農家戸数	100戸	466	3,632	25,279	12.8%	1.8%	第57次大分農林水産統計年報 (平成21~22年)
販売農家戸数 (構成比)	100戸 (%)	295 63.3%	2,379 65.5%	16,312 64.5%	12.4% —	1.8% —	
農業就業人口	100人	440	4,054	26,057	10.9%	1.7%	
農業産出額	億円	1,313	16,144	83,162	8.1%	1.6%	農林水産省「平成22年耕地及び 作付面積統計」
生産農業所得	億円	402	4,919	27,146	8.2%	1.5%	
農家所得	1,000円	1,541	2,787	2,733	55.3%	56.4%	
耕地面積	1,000ha	57.8	558.9	4,593	10.3%	1.3%	農林水産省「平成22年耕地及び 作付面積統計」
田面積 (構成比)	1,000ha (%)	40.9 70.8%	324 58.0%	2,496 54.3%	12.6% —	1.6% —	
畑面積 (構成比)	1,000ha (%)	16.9 29.2%	234.8 42.0%	2,097 45.7%	7.2% —	0.8% —	
ま ち 牧草地 (構成比)	1,000ha (%)	2.8 4.8%	13.9 2.5%	616.7 13.4%	20.1% —	0.5% —	

(注) 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家。  
 農業就業人口：販売農家で、農家に常住し、しかも生活の本拠をそこに持つ世帯員のうち、調査期日前1年間に、「農業のみに従事した世帯員」及び「農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多し世帯員」。  
 生産農業所得：農業産出額から生産のために投入された物的経費を控除して推計したもの。

### (2) 農家戸数の推移(大分県)

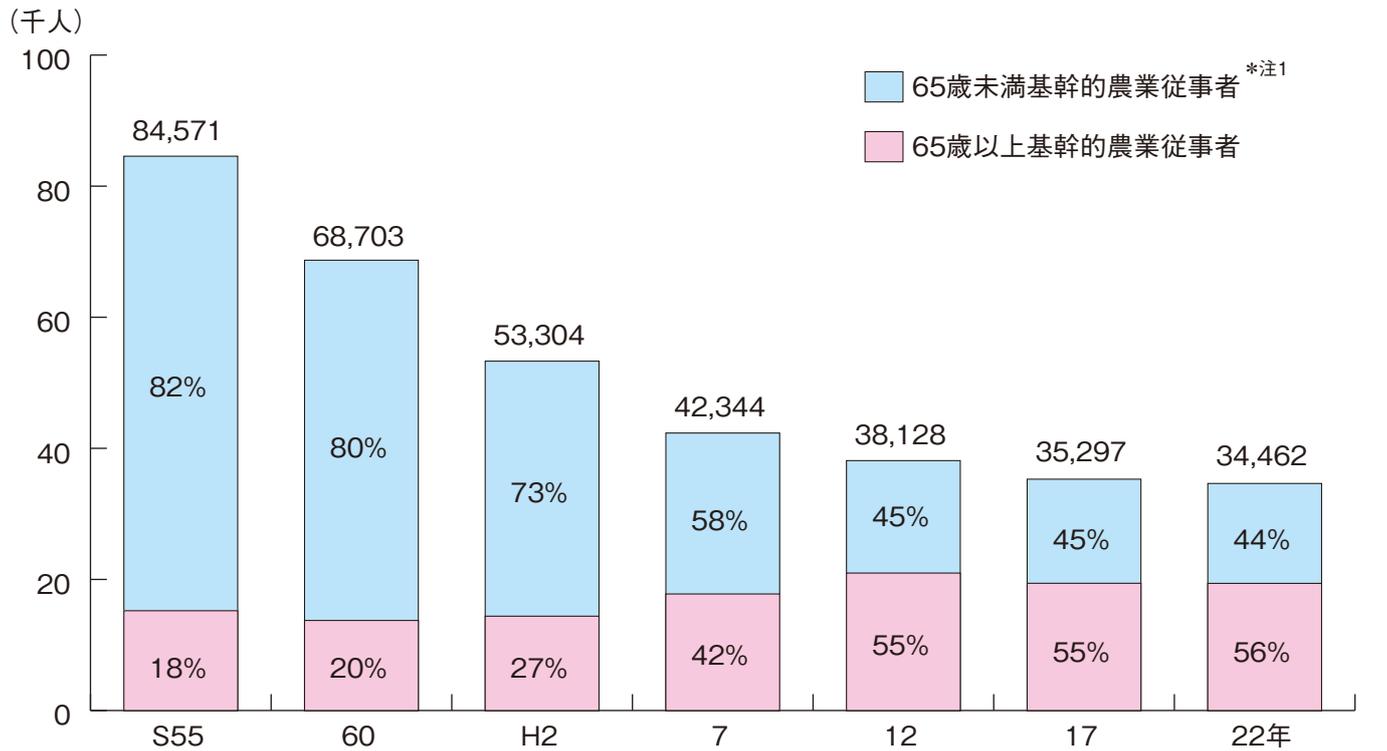


※平成7年より農家戸数の調査方法を変更。

(注) 主業農家：販売農家のうち農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。  
 準主業農家：販売農家のうち農外所得が主で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。  
 副業的農家：販売農家のうち65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家。（主業農家・準主業農家以外の農家）

資料：農林水産省「農業経営体調査」

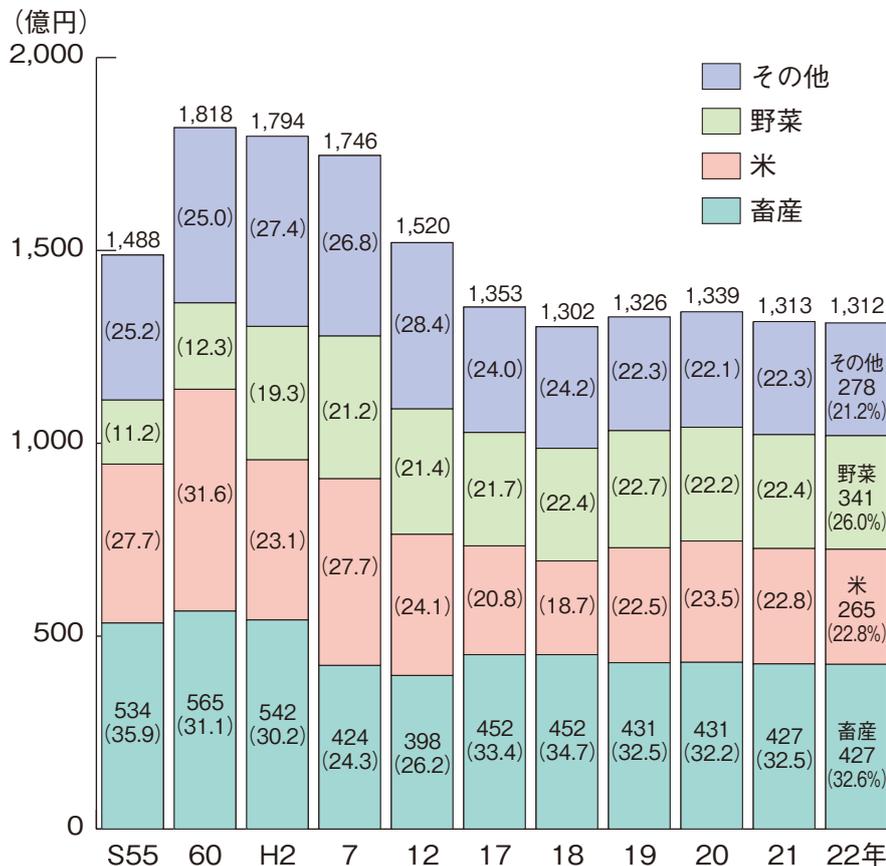
### (3) 農業労働力の推移(大分県)



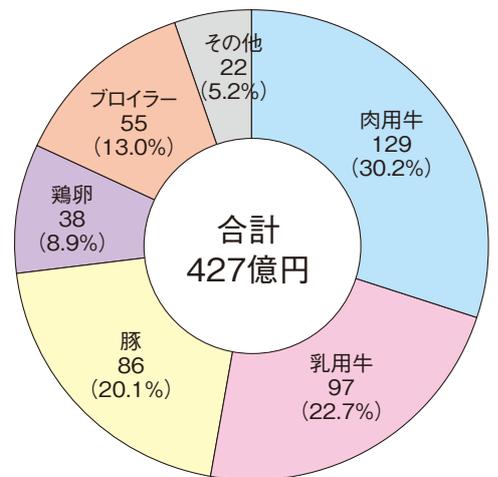
(注1)：基幹的農業従事者：農業に主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち、調査日前1年間の普段の主な状態が「仕事に従事していた者」のこと。

資料：農林水産省「農林業経営体調査」

### (4) 農業産出額(大分県)



#### 平成22年畜産産出額の内訳



※平成19年からは中間生産物の県内他市町村販売分を除く。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

## 2 畜産の概要

### (1) 家畜の飼養戸数・頭羽数（平成23年2月1日）

区分	畜種別	大分県	九州シェア	全国シェア	九州順位	全国順位	九州	全国
戸数	肉用牛	1,840	6.1%	2.6%	5位	10位	30,400	69,600
	乳用牛	193	9.4%	0.9%	6位	25位	2,050	21,000
	豚	77	4.3%	1.3%	5位	23位	1,810	6,010
	採卵鶏	42	7.5%	1.4%	6位	27位	561	2,930
	ブロイラー	59	5.8%	2.5%	5位	8位	1,013	2,392
頭羽数	肉用牛	62,500	6.4%	2.3%	5位	12位	984,100	2,763,000
	乳用牛	15,200	12.8%	1.0%	4位	17位	119,100	1,467,000
	豚	151,500	5.1%	1.6%	5位	20位	2,982,000	9,768,000
	採卵鶏	1,446	6.2%	0.8%	6位	30位	23,444	175,917
	ブロイラー	2,230	4.5%	2.1%	5位	11位	49,664	107,141
一戸当たり頭羽数	肉用牛	34.0	—	—	4位	32位	32	40
	乳用牛	78.8	—	—	1位	3位	58	70
	豚	1,967.5	—	—	1位	8位	1,648	1,625
	採卵鶏	29.6	—	—	4位	31位	33	47
	ブロイラー	37.8	—	—	6位	16位	49	45

資料：農林水産省「畜産統計」、「食鳥流通統計」

※H22年は農林業センサス実施年で調査未実施、H23年は未公表のため、ブロイラーについては平成21年2月1日時点の数値を記載。

### (2) 認定農業者数（畜産）（平成23年3月末時点）

区分	肉用牛	酪農	養豚	養鶏	その他	計
単一経営	200	146	47	57	0	450
稲作との複合経営	182	11	5	0	0	198
その他複合経営	141	35	3	4	1	184
計	523	192	55	61	1	832

※大分県調べ

### 第72回 大分県畜産共進会



#### 肉牛の部 H23.10.1

農林水産省 生産局長賞 第1区(肉専用種去勢牛)  
杵築市 阿部 登さん  
農林水産省 九州農政局長賞 第2区(肉用交雑去勢牛)  
宇佐市 江藤 務さん



#### 肉用牛の部 H23.10.22

農林水産大臣賞 玖珠町 衛藤 昇さん



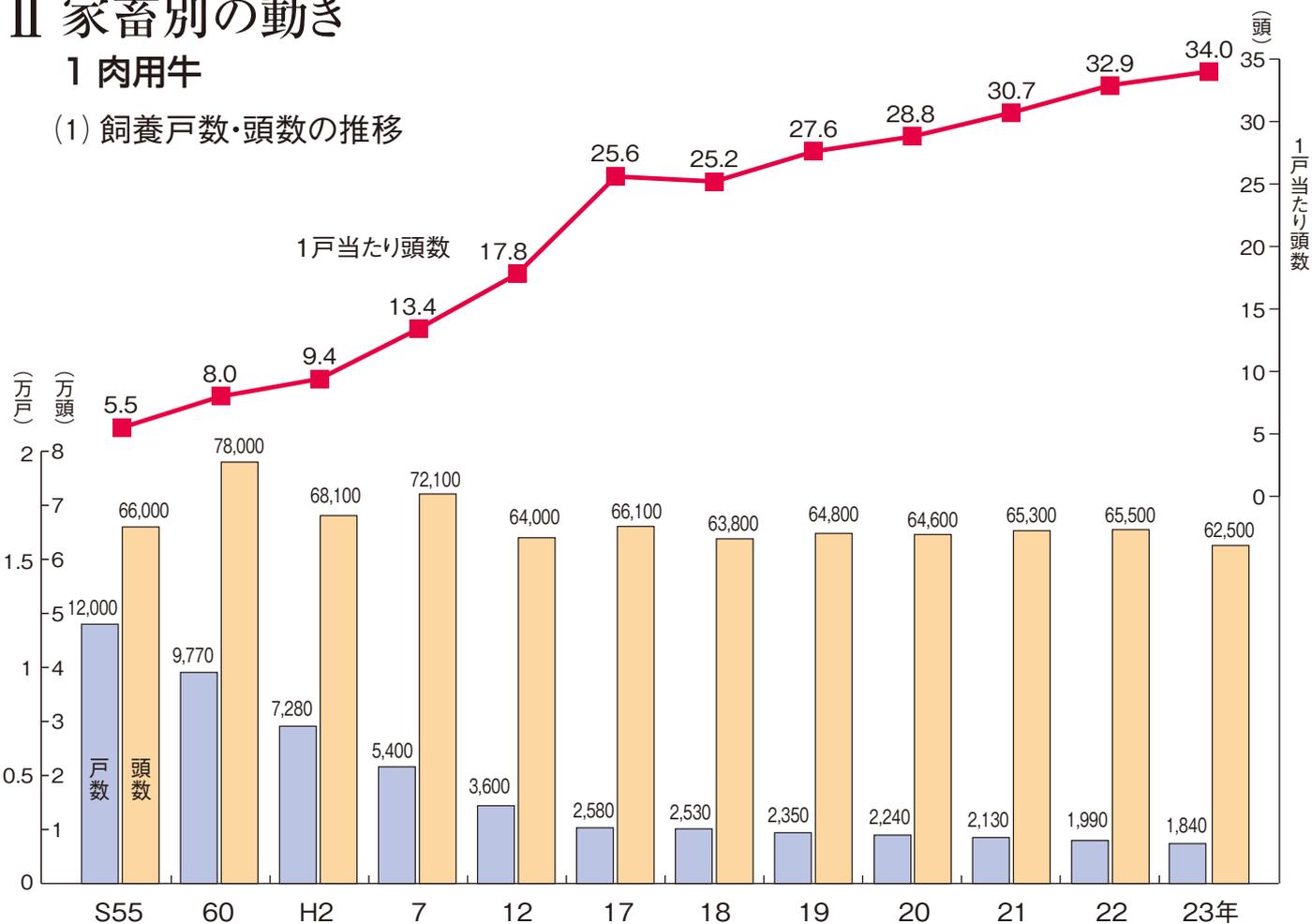
#### 乳用牛の部 H23.11.6

農林水産大臣賞 経産牛の部  
玖珠町 重見 宝弘さん  
農林水産省 九州農政局長賞 未經産牛の部  
玖珠町 伊藤 賢太さん

## Ⅱ 家畜別の動き

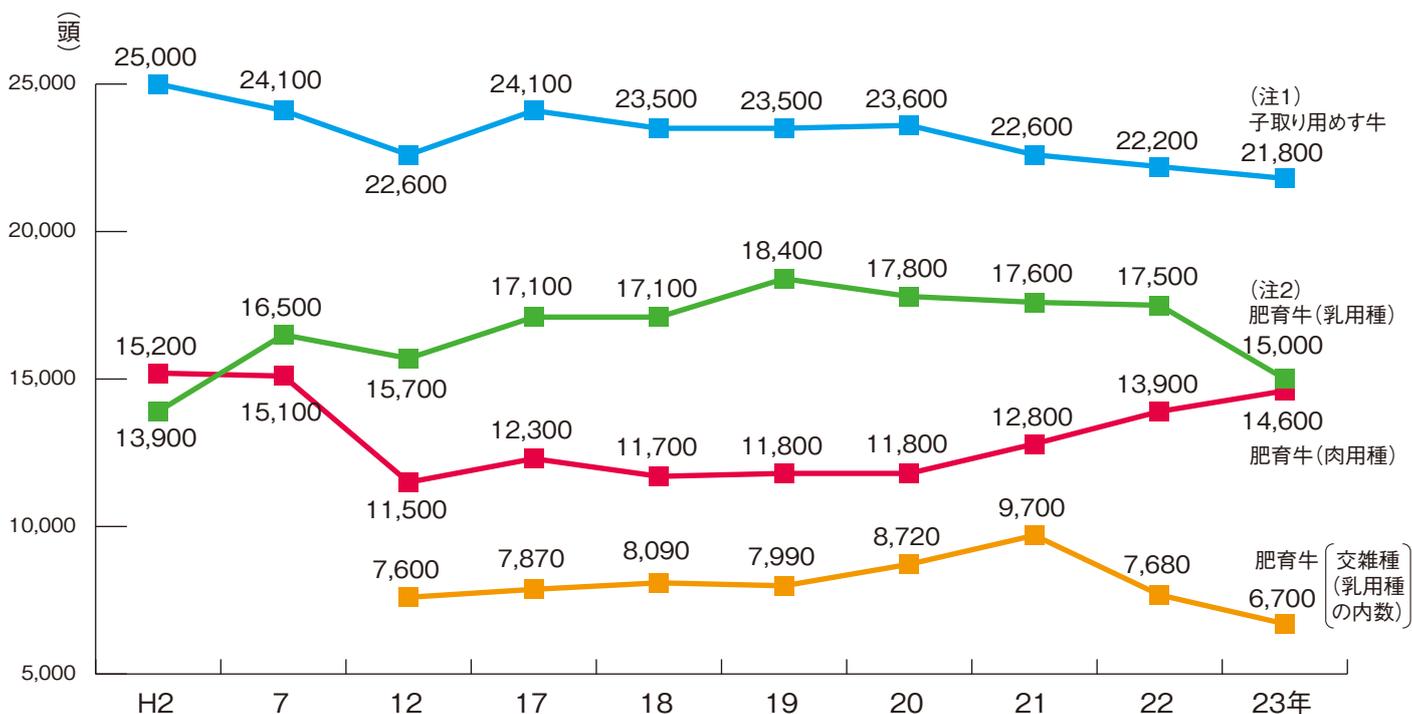
### 1 肉用牛

#### (1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」  
※2月1日時点

#### (2) 用途別頭数の推移



(注1) 子取り用めす牛：子牛を生産することを目的として飼養しているめす牛。実際には、過去に種付けしたことのある牛及び近い将来種付けをすることが確定している牛。

(注2) 肥育牛：肉牛として販売することを目的に飼養している肉用種の牛。  
したがって、ほ育・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育牛とする。

### (3) 規模別飼養戸数の推移

年	区分	1~4頭	5~9頭	10~19頭	20~49頭	50頭~	
H3		3,910戸 (56.0%)		1,900戸 (27.2%)	770戸 (11.0%)		6,980戸
8		2,200戸 (44.5%)	1,390戸 (28.1%)	860戸 (17.4%)	310戸 (6.3%)	260戸 (3.7%)	4,940戸
13		1,400戸 (42.0%)	840戸 (25.2%)	520戸 (15.6%)	390戸 (11.7%)	177戸 (5.3%)	3,330戸
18		937戸 (37.2%)	664戸 (26.3%)	459戸 (18.2%)	257戸 (10.2%)	205戸 (8.1%)	2,520戸
19		759戸 (32.4%)	663戸 (28.3%)	402戸 (17.2%)	294戸 (12.6%)	221戸 (9.4%)	2,340戸
20		730戸 (32.7%)	597戸 (26.8%)	386戸 (17.3%)	284戸 (12.7%)	231戸 (10.4%)	2,230戸
21		660戸 (31.1%)	567戸 (26.7%)	385戸 (18.2%)	281戸 (13.3%)	228戸 (10.8%)	2,120戸
22		568戸 (28.5%)	515戸 (25.9%)	378戸 (19.0%)	288戸 (14.5%)	236戸 (11.9%)	1,990戸
23		512戸 (28.0%)	461戸 (25.2%)	346戸 (18.9%)	274戸 (15.0%)	236戸 (12.9%)	1,830戸

資料：農林水産省「畜産統計」  
 (注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。

### (4) 規模別飼養頭数の推移

年	区分	1~4頭	5~9頭	10~19頭	20~49頭	50頭~	
H3		11,310頭 (17.0%)	13,300頭 (20.0%)	10,400頭 (15.7%)	8,570頭 (12.9%)	22,870頭 (34.4%)	66,400頭
8		6,230頭 (9.1%)	10,800頭 (15.8%)	12,400頭 (18.2%)	10,200頭 (15.0%)	28,530頭 (41.8%)	68,200頭
13		3,500頭 (5.5%)	6,290頭 (9.9%)	7,810頭 (12.3%)	12,550頭 (19.8%)	33,180頭 (52.4%)	63,300頭
18		4,700頭 (7.4%)	6,740頭 (10.7%)	8,660頭 (13.7%)		40,450頭 (64.1%)	63,100頭
19		4,480頭 (7.0%)	5,500頭 (8.6%)	9,140頭 (14.2%)		43,170頭 (67.1%)	64,300頭
20		4,780頭 (7.5%)	5,730頭 (8.9%)	8,660頭 (13.5%)		42,760頭 (66.7%)	64,100頭
21		3,990頭 (6.2%)	5,440頭 (8.4%)	8,300頭 (12.8%)		45,090頭 (69.8%)	64,600頭
22		3,970頭 (6.1%)	5,580頭 (8.6%)	8,250頭 (12.7%)		45,180頭 (69.7%)	64,800頭
23		3,890頭 (6.3%)	5,370頭 (8.7%)	8,130頭 (13.2%)		42,610頭 (68.9%)	61,800頭

資料：農林水産省「畜産統計」  
 (注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。

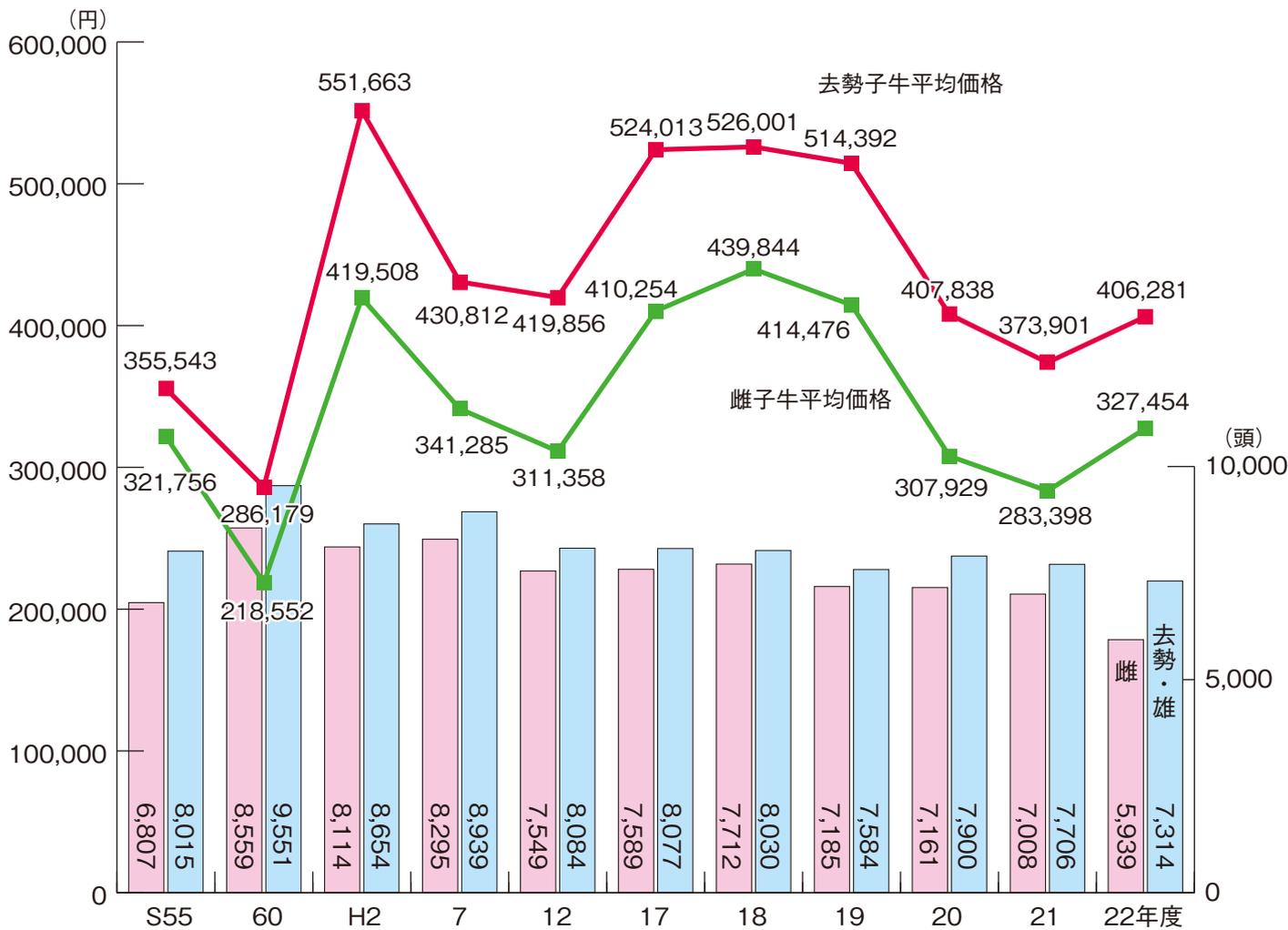


畜産研修センター入所式



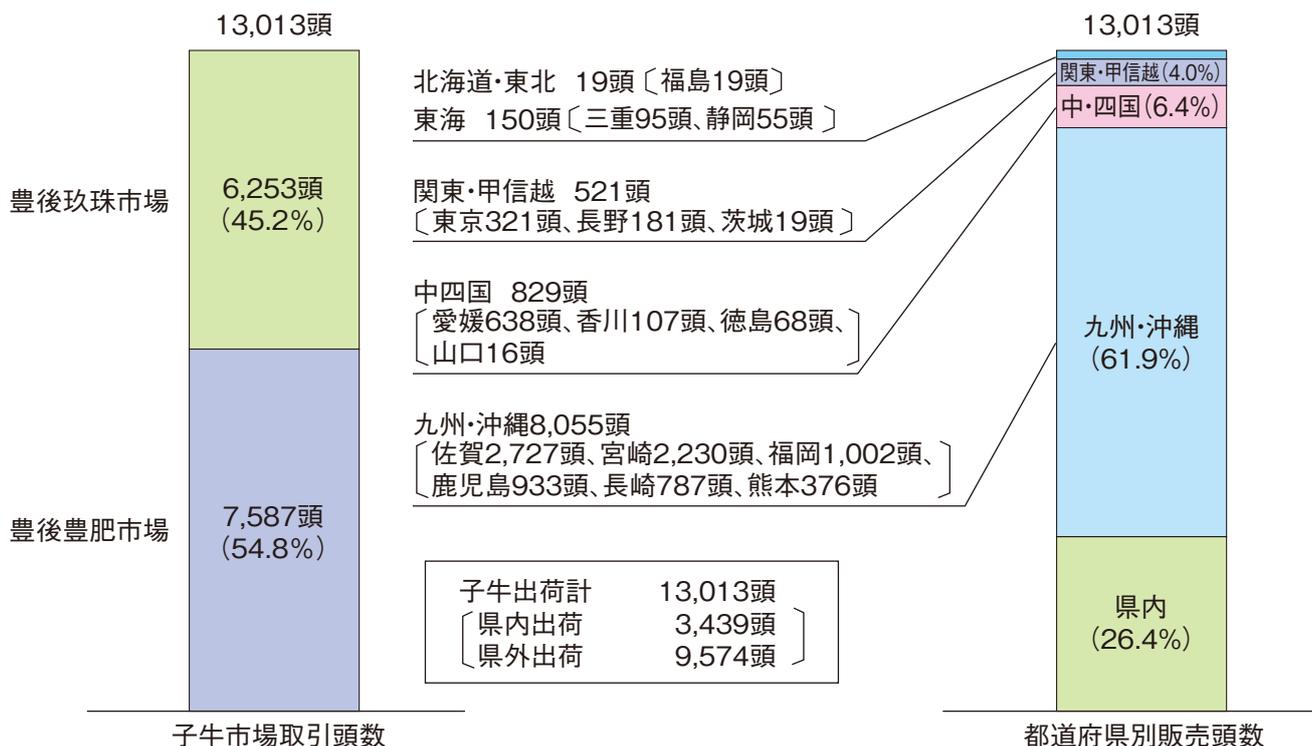
全国農林水産祭大分県ブース

(5) 子牛市場出荷頭数・平均価格の推移



資料：全農大分県本部調べ

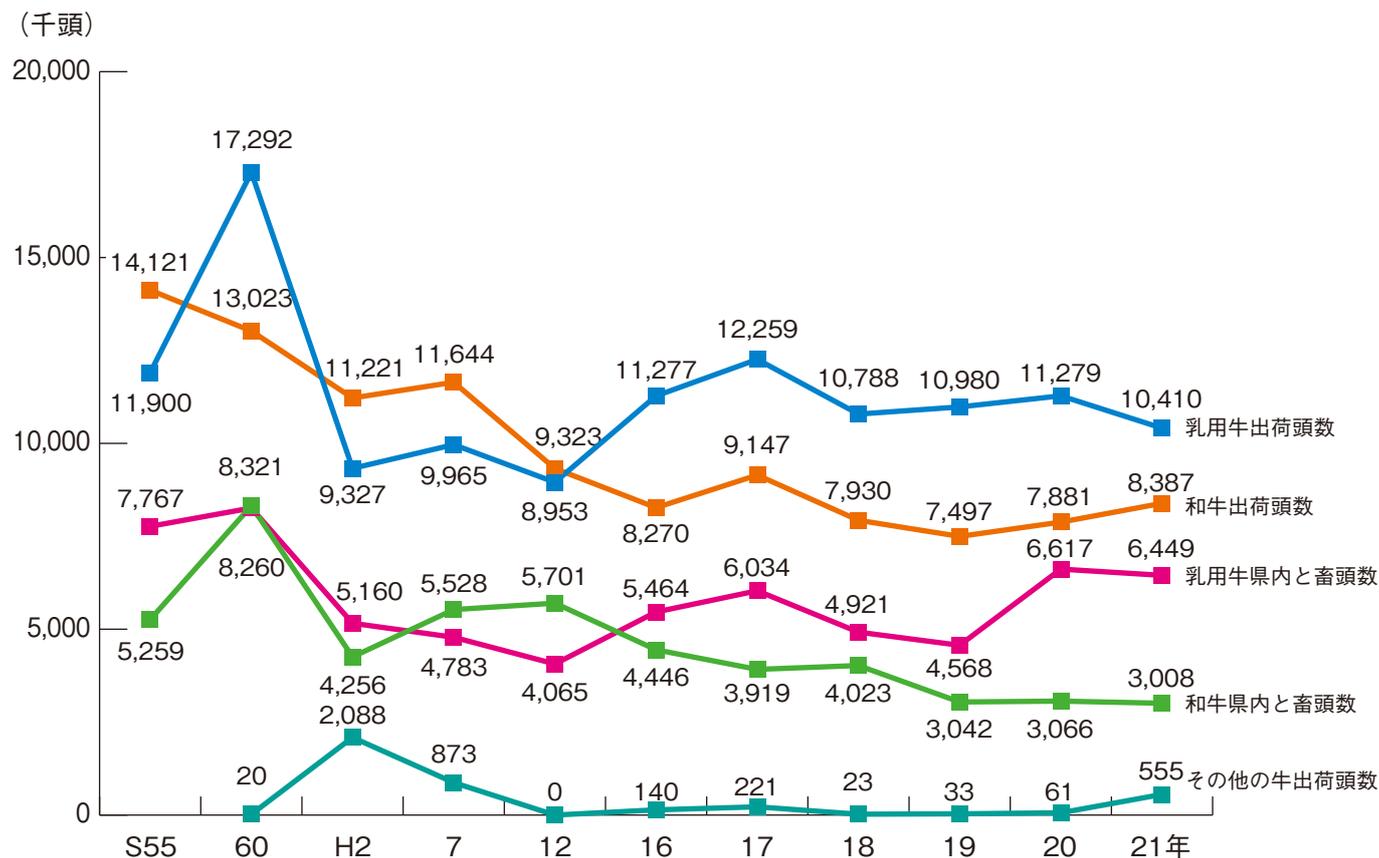
(6) 肉用子牛(黒毛和種)の流通(平成22年度)



\* H20.4月より、県内4市場から2市場に再編

資料：全農大分県本部調べ

### (7) 肉用牛出荷頭数の推移

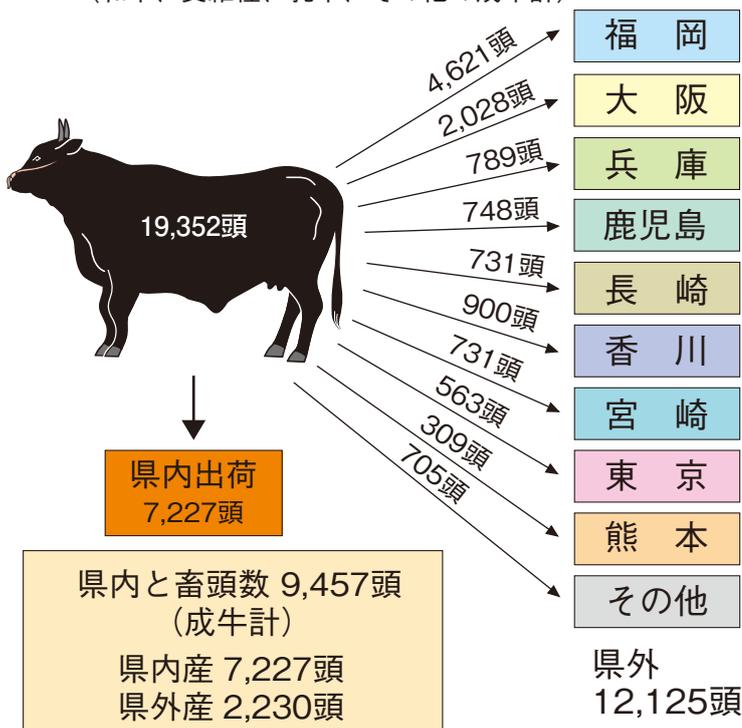


(注) 出荷頭数：飼養していた出荷者がと畜場へ出荷した頭数。(老廃牛を含む)  
と畜頭数：食用に供する目的で、と畜場へ出荷され、と畜された肉畜の頭数。(廃棄処分は除く)

資料：農林水産省「畜産物流通統計」

### (8) 肉牛の流通 (平成21年)

出荷頭数  
(和牛、交雑種、乳牛、その他の成牛計)



資料：農林水産省「畜産物流通統計」

豊後牛(黒毛和種肥育牛)の出荷実績(系統出荷)

出荷先	20年度	21年度	22年度
県内	2,252頭	2,237頭	2,327頭
大阪	541頭	731頭	749頭
東京	65頭	54頭	34頭
福岡	17頭	29頭	126頭
其他	27頭	25頭	290頭
合計	2,902頭	3,076頭	3,526頭
販売金額	2,097,977千円	2,141,560千円	2,465,160千円

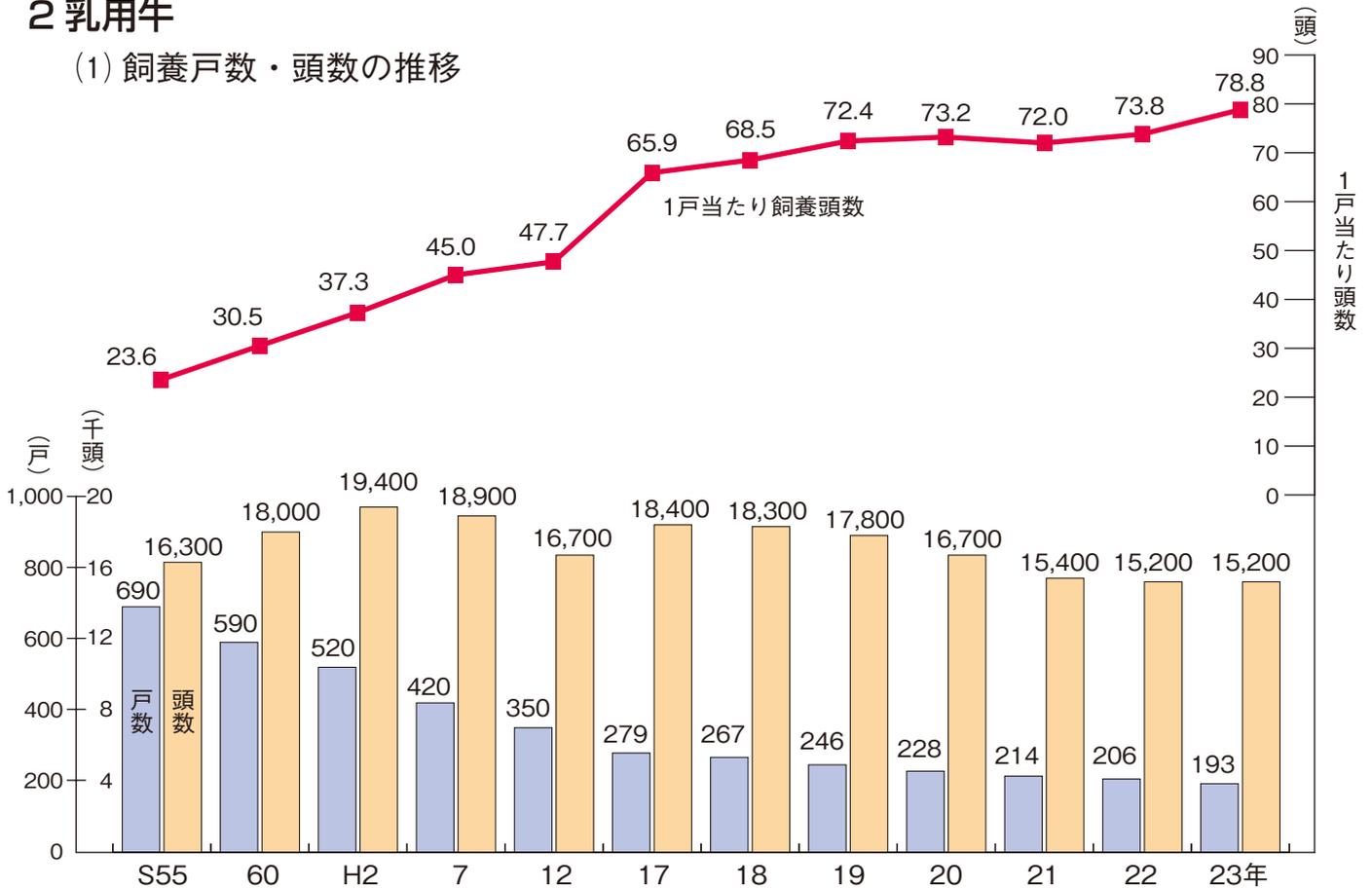
資料：全農大分県本部調べ



大分県肉牛枝肉共励会 (大阪南港市場)

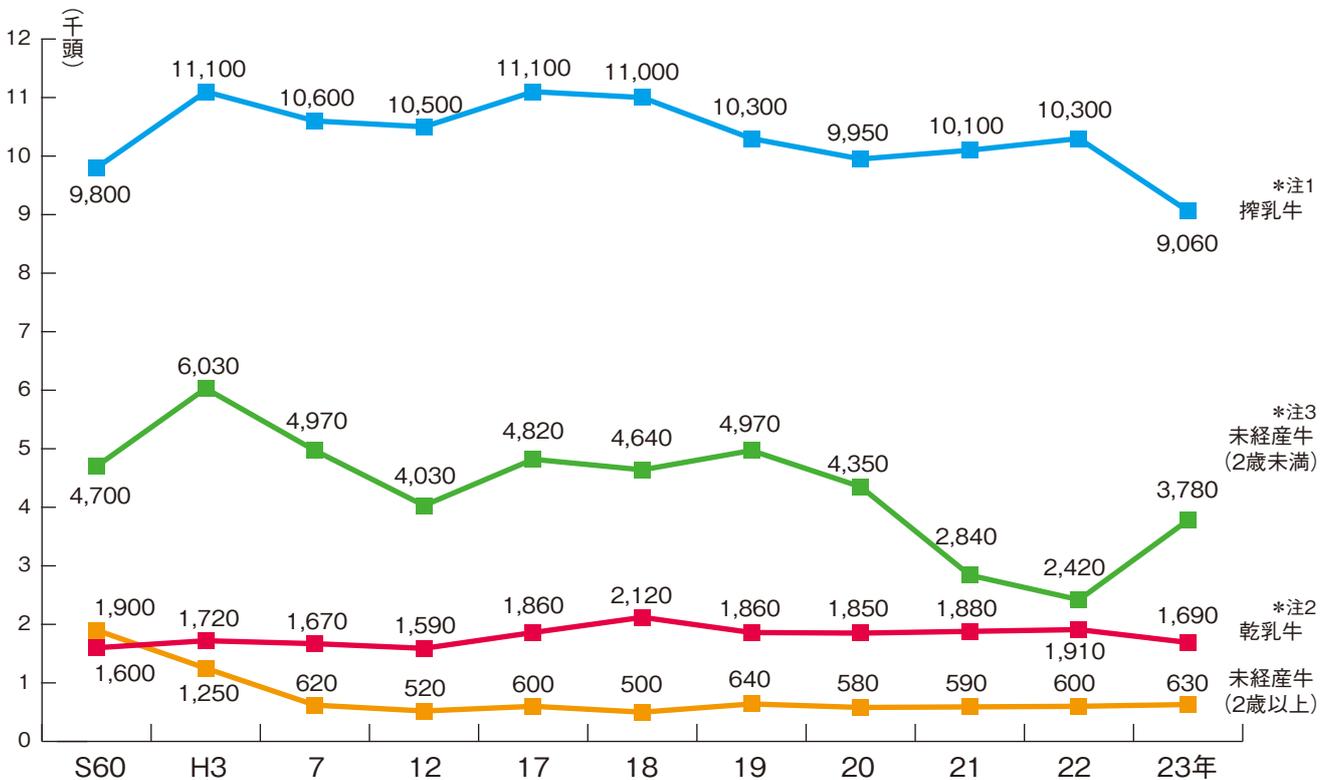
## 2 乳用牛

### (1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

### (2) 用途別頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) 搾乳牛：経産牛のうち、搾乳中の牛のこと。

(注2) 乾乳牛：経産牛のうち、搾乳していない牛のこと。分娩前の乾乳と空胎乾乳がある。

(注3) 未経産牛：出生してから分娩するまでの牛で、生後30カ月位までが主体。

### (3) 成畜飼養頭数規模別飼養戸数の推移

年	区分	1～19頭	20～29頭	30～49頭	50頭～	
S61		319戸 (55.3%)	150戸 (26.0%)	73戸 (12.7%)	35戸 (6.1%)	577戸
H3		195戸 (38.6%)	140戸 (27.7%)	117戸 (23.1%)	53戸 (10.5%)	505戸
8		115戸 (29.0%)	98戸 (24.7%)	129戸 (32.5%)	55戸 (13.9%)	397戸
13		87戸 (26.0%)	91戸 (27.2%)	94戸 (28.1%)	62戸 (18.6%)	334戸
18		62戸 (23.5%)	57戸 (21.6%)	70戸 (26.5%)	75戸 (28.4%)	264戸
19		64戸 (26.2%)	46戸 (18.9%)	57戸 (23.4%)	77戸 (31.6%)	244戸
20		50戸 (22.1%)	41戸 (18.1%)	70戸 (31.0%)	65戸 (28.8%)	226戸
21		33戸 (15.5%)	28戸 (13.1%)	63戸 (29.6%)	89戸 (41.8%)	213戸
22		35戸 (17.2%)	24戸 (11.8%)	58戸 (28.4%)	87戸 (42.6%)	204戸
23		29戸 (15.3%)	21戸 (11.1%)	54戸 (28.4%)	86戸 (45.2%)	190戸

資料：農林水産省「畜産統計」 ※学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。

### (4) 成畜飼養頭数規模別飼養頭数の推移

年	区分	1～19頭	20～29頭	30～49頭	50頭～	
S61		4,820頭 (26.5%)	4,640頭 (25.5%)	4,900頭 (26.9%)	3,840頭 (21.1%)	18,200頭
H3		3,070頭 (15.6%)	4,620頭 (23.5%)	6,170頭 (31.3%)	5,830頭 (29.6%)	19,690頭
8		1,890頭 (10.6%)	3,280頭 (18.4%)	6,710頭 (37.6%)	5,950頭 (33.4%)	17,830頭
13		1,400頭 (8.2%)	2,950頭 (17.4%)	4,760頭 (28.0%)	7,890頭 (46.4%)	17,000頭
18		1,840頭 (10.1%)	3,710頭 (20.4%)	11,620頭 (63.8%)		18,220頭
		└ 1,050頭(5.8%)				
19		1,580頭 (8.9%)	2,940頭 (16.6%)	11,890頭 (67.2%)		17,690頭
		└ 1,280頭(7.2%)				
20		1,160頭 (7.0%)	2,920頭 (17.5%)	11,830頭 (71.1%)		16,650頭
		└ 740頭(4.4%)				
21		390頭 (2.5%)	2,360頭 (15.4%)	11,900頭 (77.4%)		15,370頭
		└ 720頭(4.7%)				
22		450頭 (3.0%)	2,310頭 (15.3%)	11,770頭 (77.8%)		15,130頭
		└ 600頭(4.0%)				
23		370頭 (2.5%)	2,050頭 (13.9%)	11,830頭 (80.0%)		14,790頭
		└ 540頭(3.7%)				

資料：農林水産省「畜産統計」 ※学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。

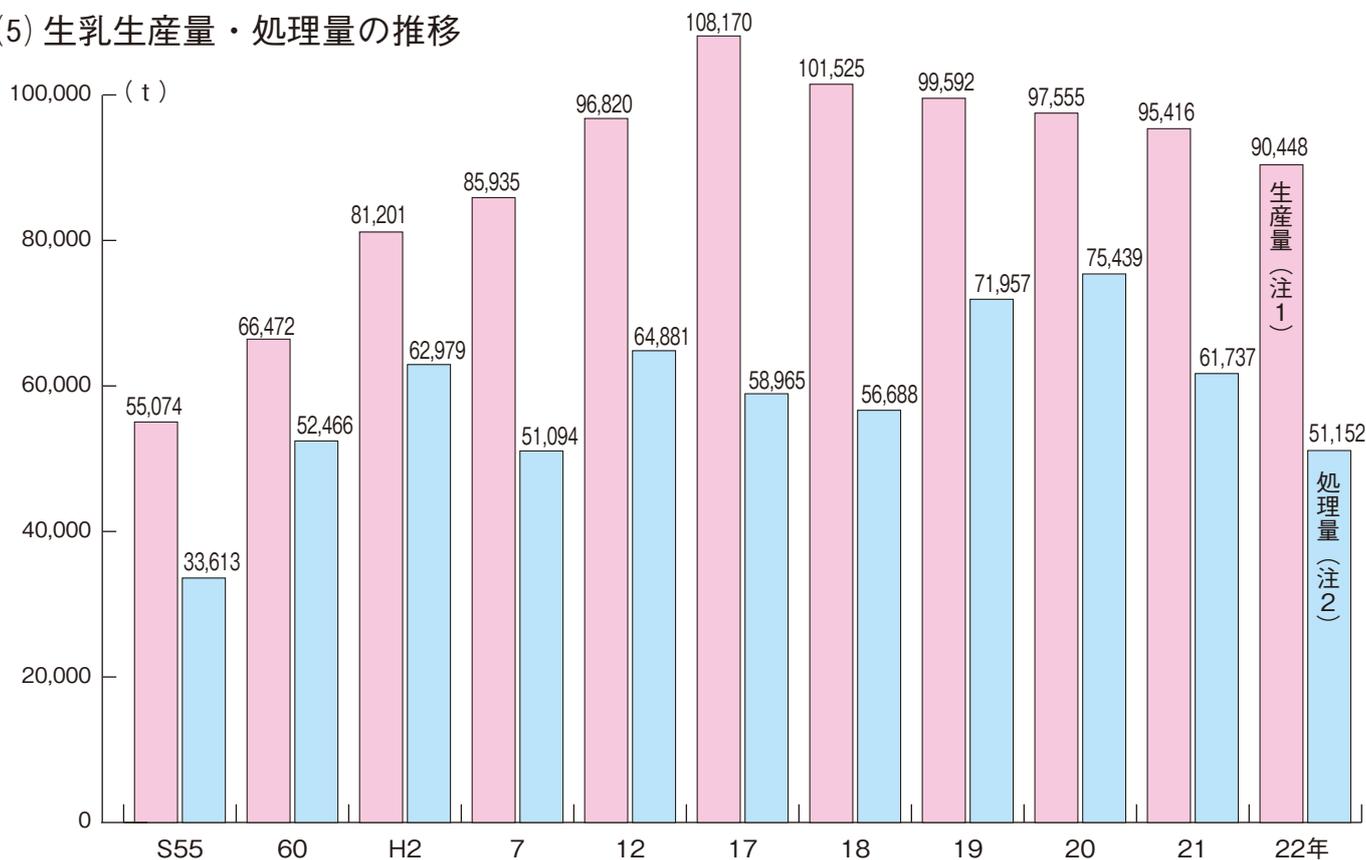


牛乳消費拡大の取組み(モーモースクール)



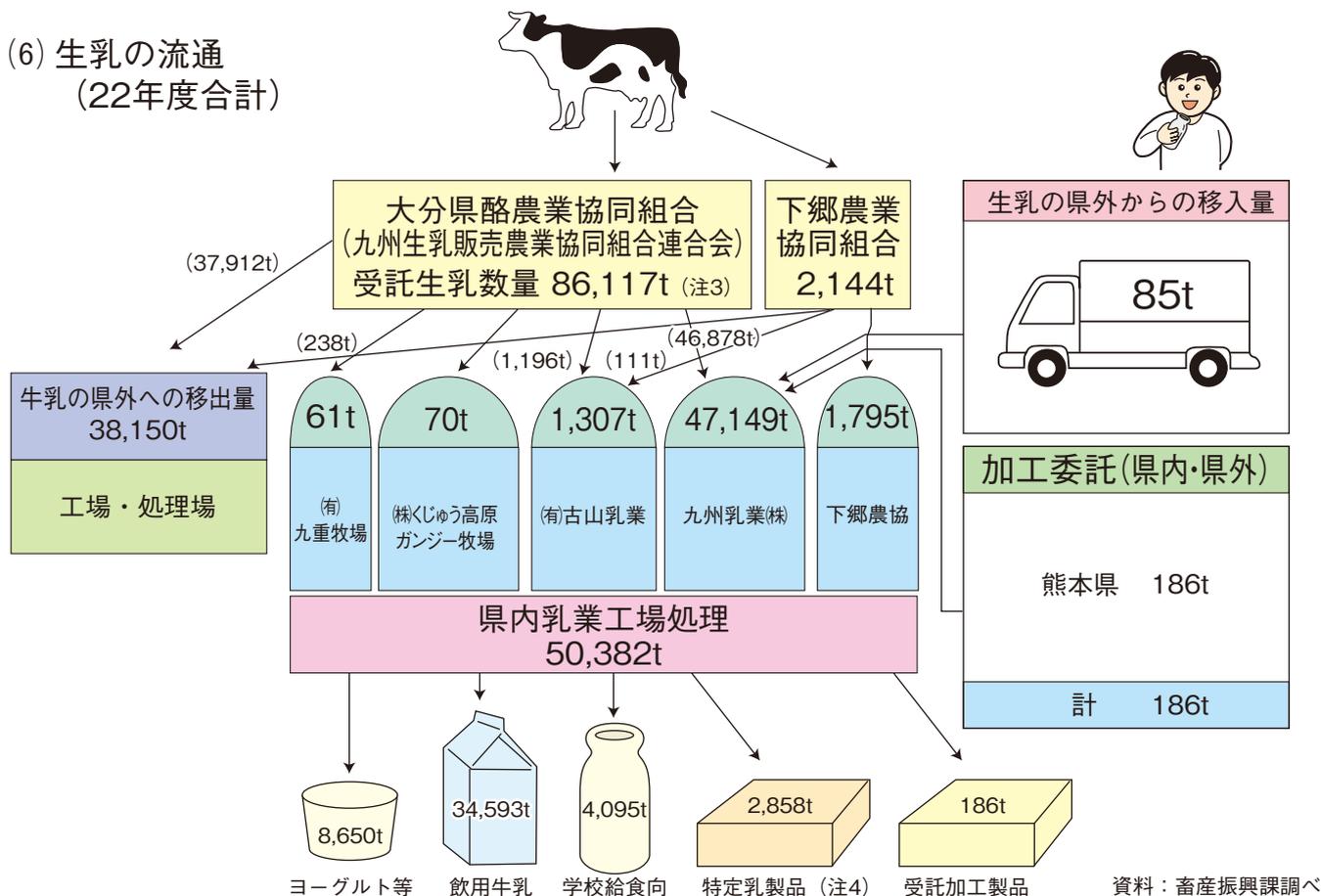
牛乳消費拡大の取組み(搾乳体験)

### (5) 生乳生産量・処理量の推移



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

### (6) 生乳の流通 (22年度合計)



(注1) 生乳生産量：初乳を除く生乳（搾乳したままの乳用牛の乳）の総量であり、乳製品工場、牛乳処理場に出荷したもののほか、生産者の自家飲用、子牛ほ乳用等を含めたもの。

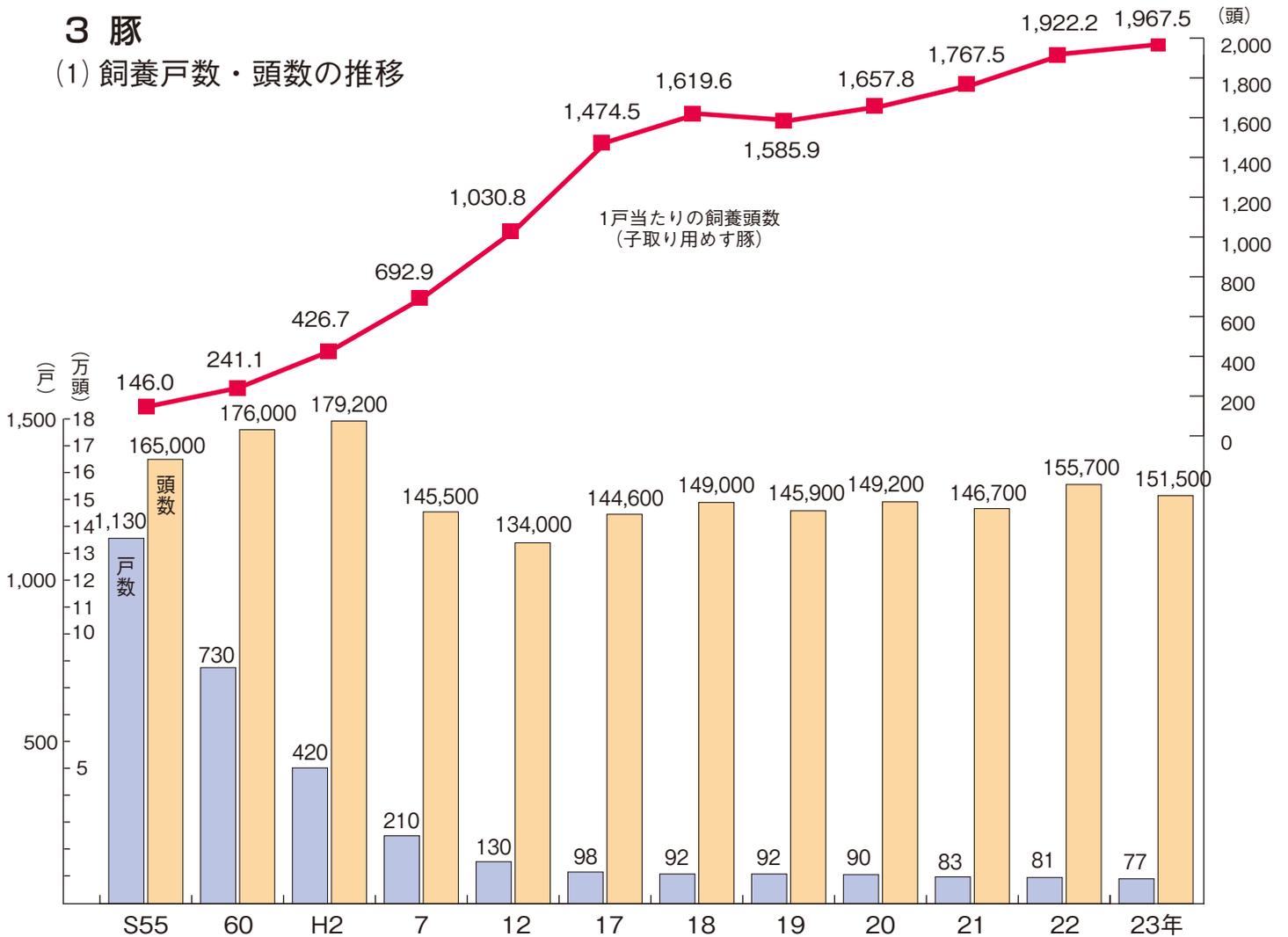
(注2) 生乳処理量：生乳を県内で乳製品向け、飲用牛乳向け、その他向け（自家飲料、子牛のほ乳用）に処理したものの量。

(注3) 受託生乳数量：酪農家が県酪に委託して、九州生乳販売農業協同組合連合会に出荷した量。

(注4) 特定乳製品：全粉乳、脱脂粉乳、加糖粉乳、全脂加糖練乳、脱脂加糖練乳、全脂無糖練乳、バター及び子牛用の脱脂乳をいう。

### 3 豚

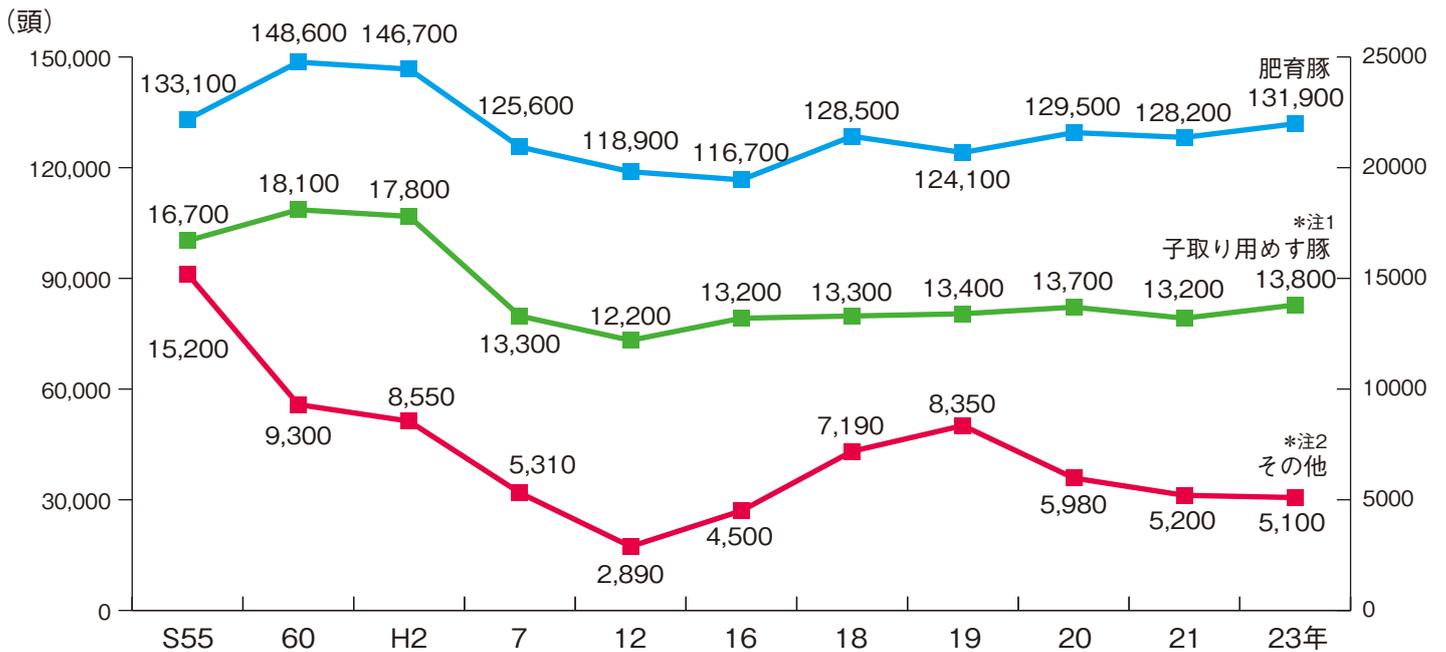
#### (1) 飼養戸数・頭数の推移



※H22は農林業センサス実施年のため未公表。県調べの値を記載

資料：農林水産省「畜産統計」

#### (2) 用途別頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) 子取りめす豚：生後6か月以上で子豚を生産することを目的としているめす豚のこと。

実際には過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚のこと。

(注2) その他：平成7年以降のその他には種雄豚の頭数を含む。

(注3) H17,H22は農林業センサス実施年のため未公表。

### (3) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数の推移

年	区分	1~299頭	300~499頭	500~999頭	1,000~1,999頭	2,000頭~	合計
H3		190戸 (65.7%)	44戸 (15.2%)	32戸 (11.1%)	13戸 (4.5%)	10戸 (3.5%)	289戸
8		62戸 (38.3%)	30戸 (18.5%)	45戸 (27.8%)	15戸 (9.3%)	10戸 (6.2%)	162戸
13		41戸 (35.7%)	14戸 (12.2%)	32戸 (27.8%)	15戸 (13.0%)	13戸 (11.3%)	115戸
16		27戸 (28.4%)	10戸 (10.5%)	26戸 (27.4%)	19戸 (20.0%)	13戸 (13.7%)	95戸
18		24戸 (27.6%)	9戸 (10.3%)	18戸 (20.7%)	20戸 (23.0%)	16戸 (18.4%)	87戸
19		21戸 (23.9%)	13戸 (14.8%)	21戸 (23.9%)	20戸 (22.7%)	13戸 (14.8%)	88戸
20		23戸 (26.4%)	10戸 (11.5%)	17戸 (19.5%)	21戸 (24.1%)	16戸 (18.4%)	87戸
21		16戸 (20.0%)	12戸 (15.0%)	19戸 (23.8%)	15戸 (18.8%)	18戸 (22.5%)	80戸
23		17戸 (23.3%)	7戸 (9.6%)	16戸 (21.9%)	17戸 (23.3%)	16戸 (21.9%)	73戸

資料：農林水産省「畜産統計」

### (4) 肥育豚頭数規模別飼養頭数の推移

年	区分	1~299頭	300~499頭	500~999頭	1,000~1,999頭	2,000頭~	合計
H3		39,250頭 (24.6%)	21,200頭 (13.3%)	28,200頭 (17.7%)	19,700頭 (12.4%)	50,900頭 (32.0%)	159,250頭
8		13,270頭 (9.9%)	14,200頭 (10.6%)	33,700頭 (25.2%)	21,800頭 (16.3%)	50,700頭 (37.9%)	133,670頭
13		8,140頭 (6.3%)	24,100頭 (18.6%)	22,200頭 (17.1%)	5,860頭 (4.5%)	69,500頭 (53.5%)	129,800頭
16		4,500頭 (3.5%)	20,300頭 (15.7%)	28,200頭 (21.7%)	4,400頭 (3.4%)	72,300頭 (55.7%)	129,700頭
18		3,750頭 (2.6%)	15,000頭 (10.6%)	31,000頭 (21.8%)	4,310頭 (3.0%)	88,000頭 (61.9%)	142,060頭
19		3,170頭 (2.2%)	18,900頭 (13.2%)	36,100頭 (25.2%)	6,130頭 (4.3%)	78,700頭 (55.0%)	143,000頭
20		3,300頭 (2.2%)	14,100頭 (9.6%)	34,400頭 (23.4%)	4,560頭 (3.1%)	90,500頭 (61.6%)	146,860頭
21		2,170頭 (1.5%)	16,300頭 (11.3%)	23,600頭 (16.4%)	5,610頭 (3.9%)	96,500頭 (66.9%)	144,180頭
23		2,510頭 (1.7%)	12,900頭 (8.7%)	29,600頭 (19.9%)	3,430頭 (2.3%)	100,300頭 (67.4%)	148,740頭

資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) 肥育豚：肉豚として販売することを目的としている豚をいい、もと豚として販売するものは含まない。

学校・試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

(注2) 平成22年はセンサス年のため調査なし。

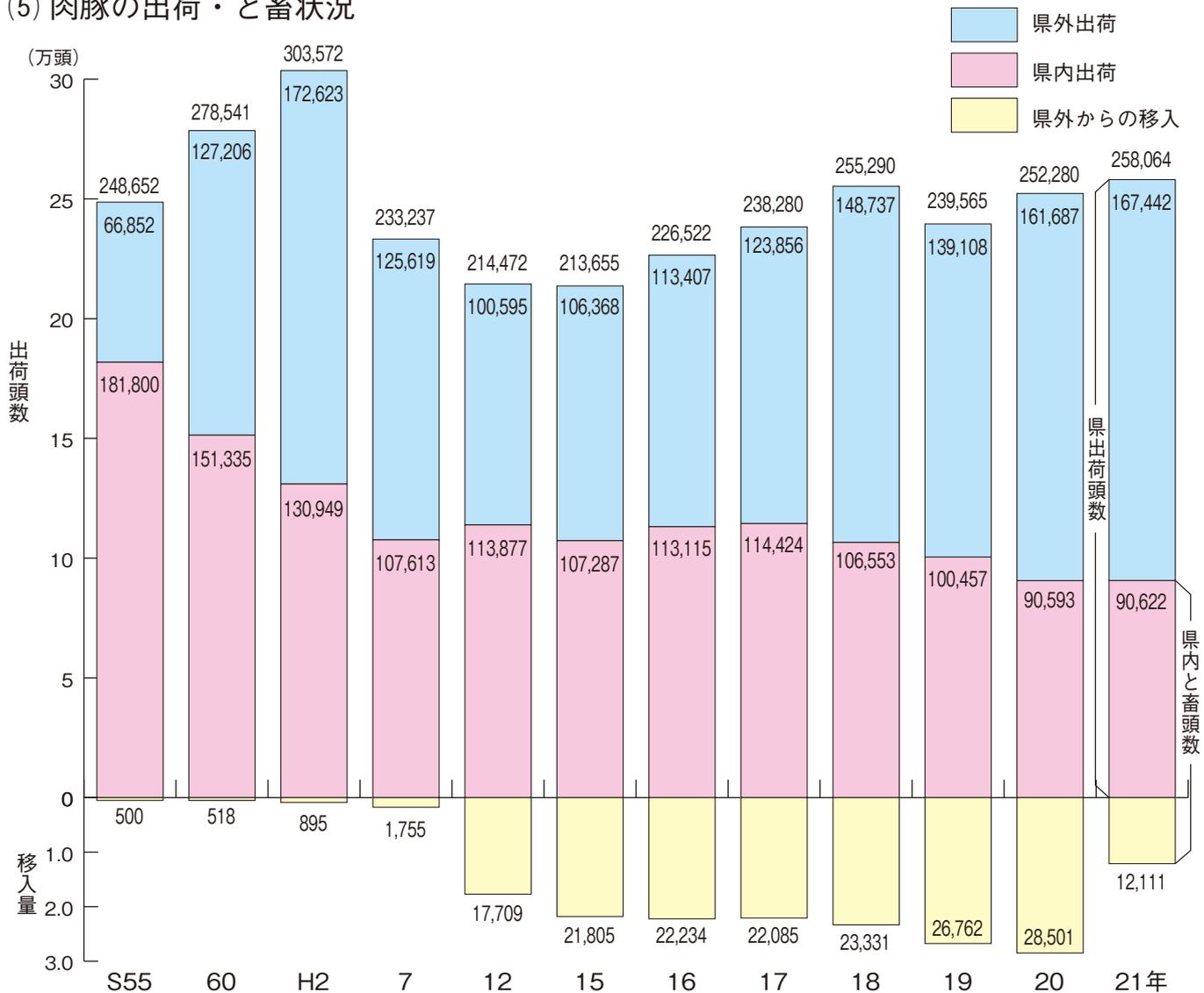


豚の人工授精



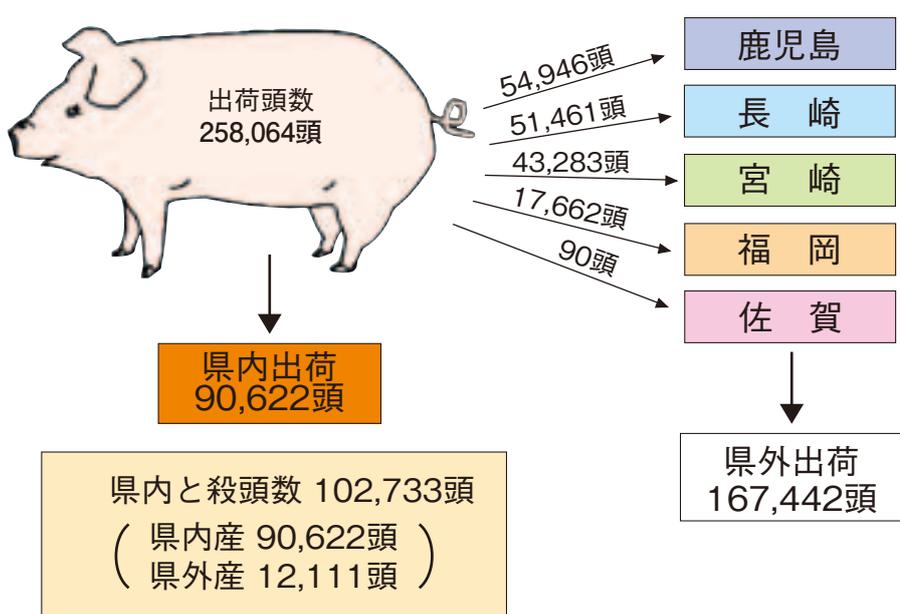
豚凍結精液製造施設（完成記念式典）

### (5) 肉豚の出荷・と畜状況



資料：農林水産省「畜産物流通統計」

### (6) 肉豚の流通（平成21年）



ランドレース種 新系統：おおいたエル07



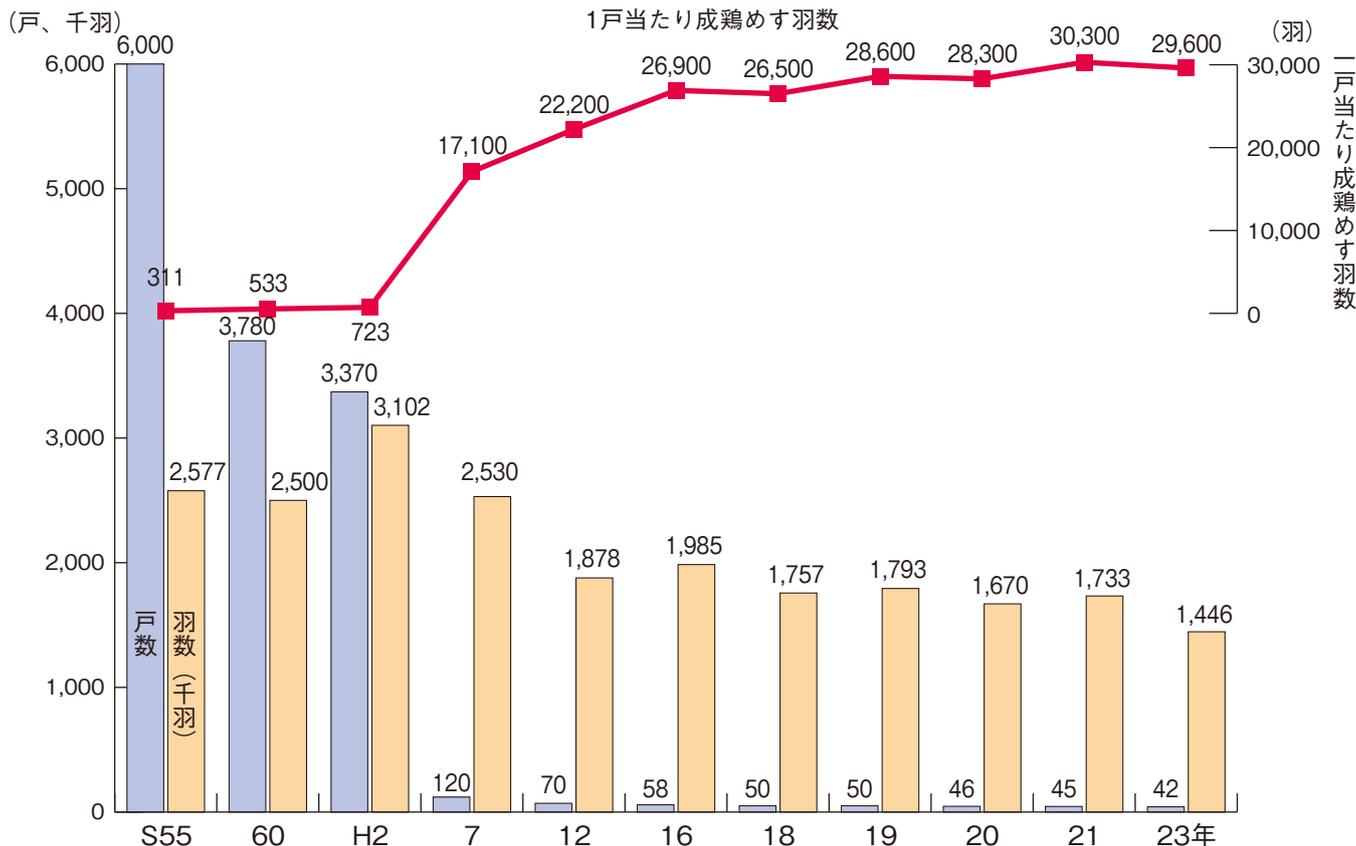
デュロック種：畜産研究部 豚・鶏チームにて産肉・肉質選抜により系統造成中

資料：農林水産省「畜産物流通統計」

(注) 肉畜の出荷産地の決め方：と畜場でと畜解体された肉畜が出荷前、少なくとも1か月以上飼養された産地（都道府県）としている。

## 4 採卵鶏

### (1) 飼養戸数・羽数の推移



(注) 飼養戸数・羽数は、種鶏のみの飼養戸数、種鶏の飼養羽数を除く。  
 平成7年は成鶏めす羽数300羽未満の飼養戸数・羽数を除く。平成12年以降は成鶏めす羽数1,000羽未満の飼養戸数・羽数を除く。  
 平成17年・22年はセンサス年のため調査なし。

資料：農林水産省「畜産統計」

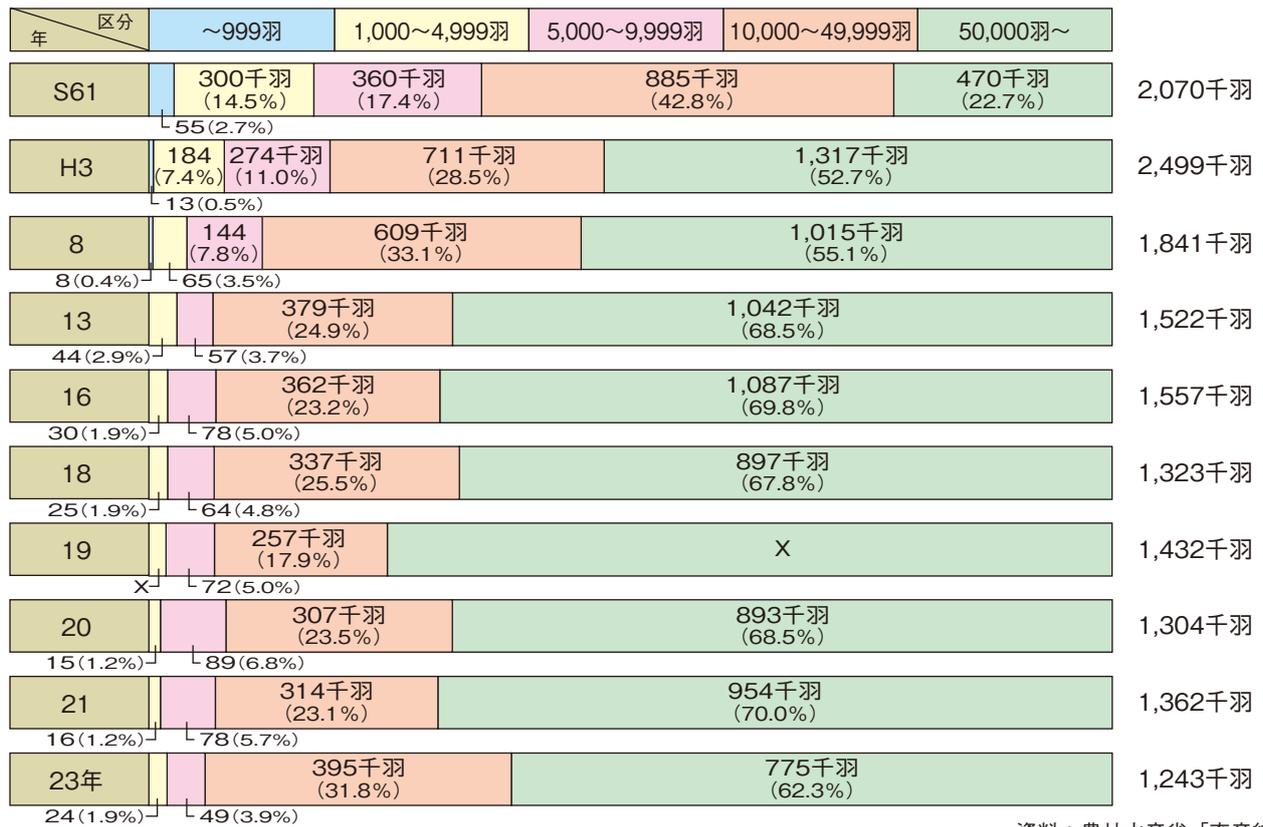
### (2) 成鶏めす羽数規模別飼養戸数の推移

年	区分	~999羽	1,000~4,999羽	5,000~9,999羽	10,000~49,999羽	50,000羽~	合計
S61		3,580戸 (94.8%)				90戸 (2.4%) 52戸 (1.4%) 49戸 (1.3%) 6戸 (0.2%)	3,777戸
H3		30戸 (16.1%)	69戸 (37.1%)	42戸 (22.6%)	32戸 (17.2%)	13戸 (7.0%)	186戸
8		10戸 (11.1%)	24戸 (26.7%)	19戸 (21.1%)	25戸 (27.8%)	12戸 (13.3%)	90戸
13		20戸 (32.8%)	9戸 (14.8%)	21戸 (34.4%)	11戸 (18.0%)		61戸
16		15戸 (27.8%)	11戸 (20.4%)	16戸 (29.6%)	12戸 (22.2%)		54戸
18		13戸 (27.7%)	9戸 (19.1%)	15戸 (31.9%)	10戸 (21.3%)		47戸
19		13戸 (27.7%)	10戸 (21.3%)	12戸 (25.5%)	12戸 (25.5%)		47戸
20		7戸 (16.3%)	12戸 (27.9%)	13戸 (30.2%)	11戸 (25.6%)		43戸
21		6戸 (14.6%)	10戸 (24.4%)	13戸 (31.7%)	12戸 (29.3%)		41戸
23年		9戸 (21.4%)	8戸 (19.0%)	16戸 (38.1%)	9戸 (21.4%)		42戸

(注) 平成3年、9年の戸数は、300羽未満の飼養戸数を除く。  
 平成13年以降の戸数は、1,000羽未満の飼養戸数を除く。  
 学校・試験場等の非営利的な飼養者は含まない。  
 平成17年・22年はセンサス年のため調査なし。

資料：農林水産省「畜産統計」

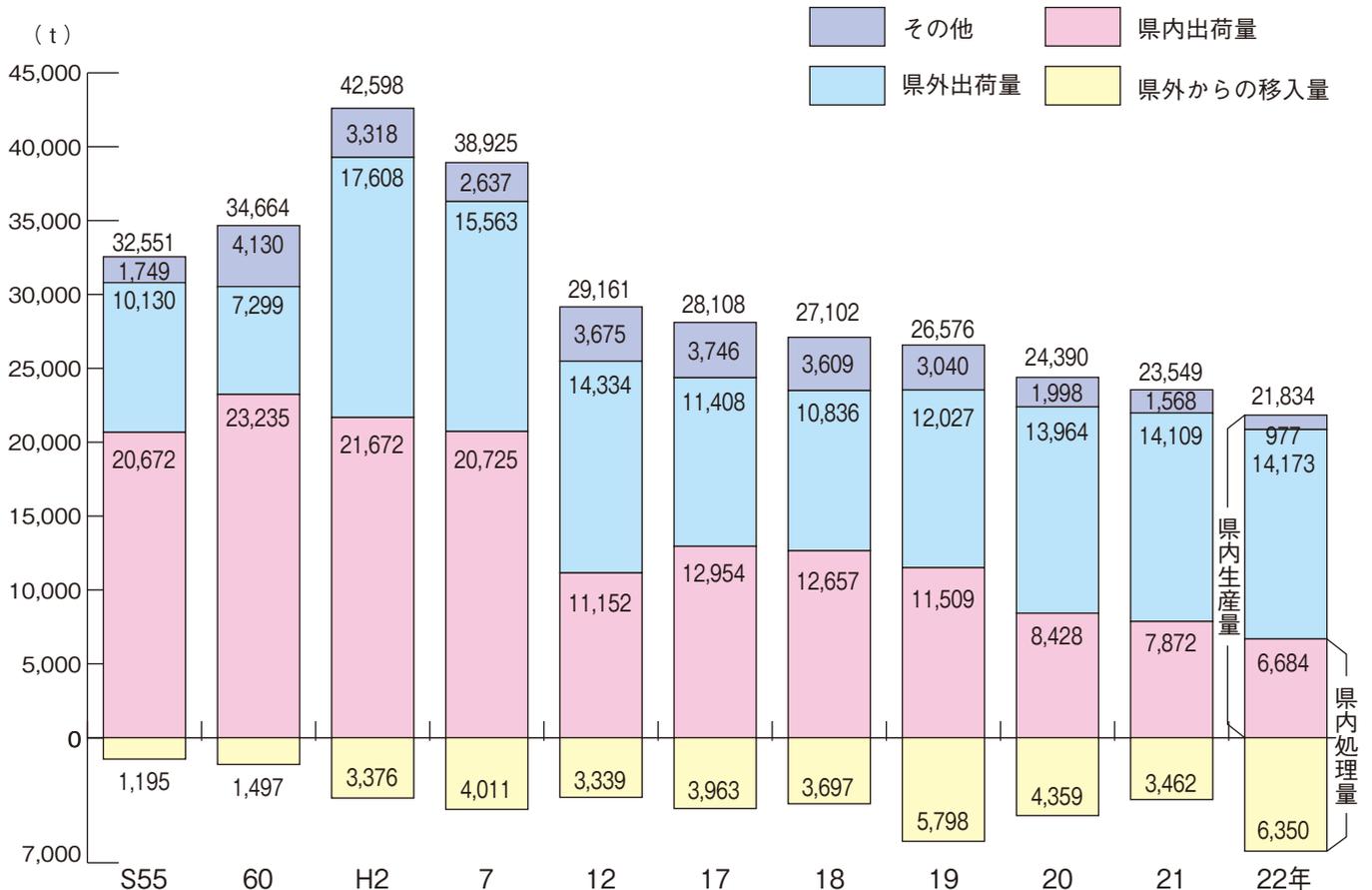
### (3) 成鶏めす羽数規模別成鶏めす飼養羽数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 平成3年、9年の羽数は、300羽未満の羽数を除く。  
 平成13年以降の羽数は、1,000羽未満の羽数を除く。  
 学校・試験場等の非営利的な飼養者は含まない。  
 表中の「X」は少数調査農家の秘密保護上統計値を公表しないものである。

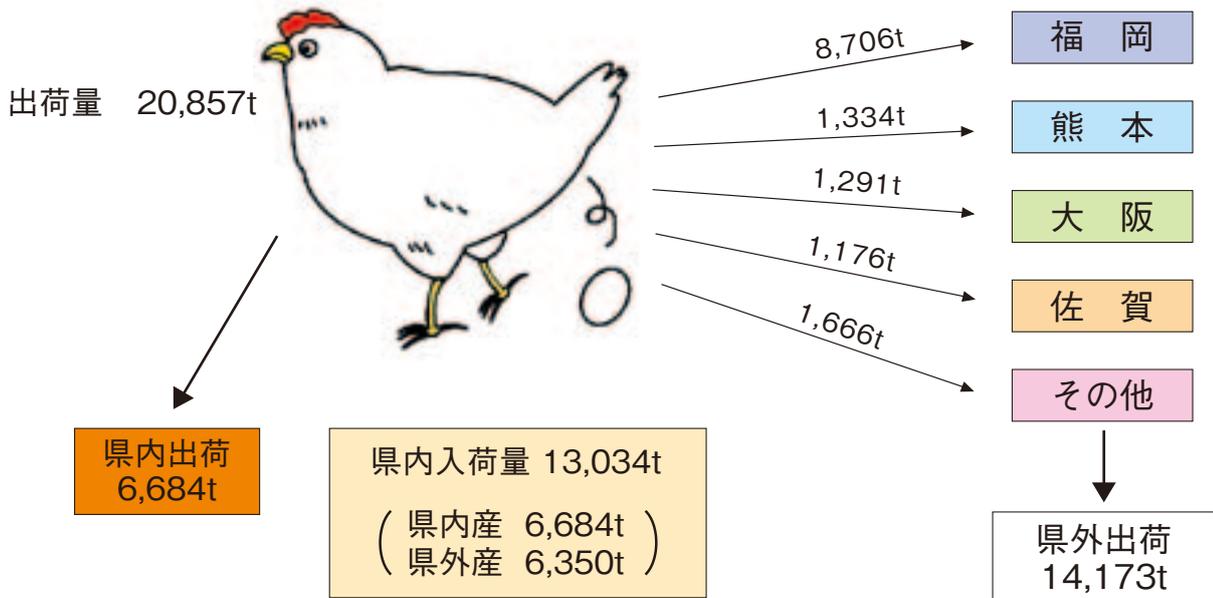
### (4) 鶏卵生産量、出入荷状況



資料：農林水産省「鶏卵流通統計」

(注) 鶏卵生産量：一般用食品、加工用、種卵等として生産された鶏の卵をいう。  
 鶏卵出荷量：一般用食品及び加工用として販売した鶏卵の数量をいい、生産者が自家消費した数量及び種卵、その他の数量は出荷量には含まれない。

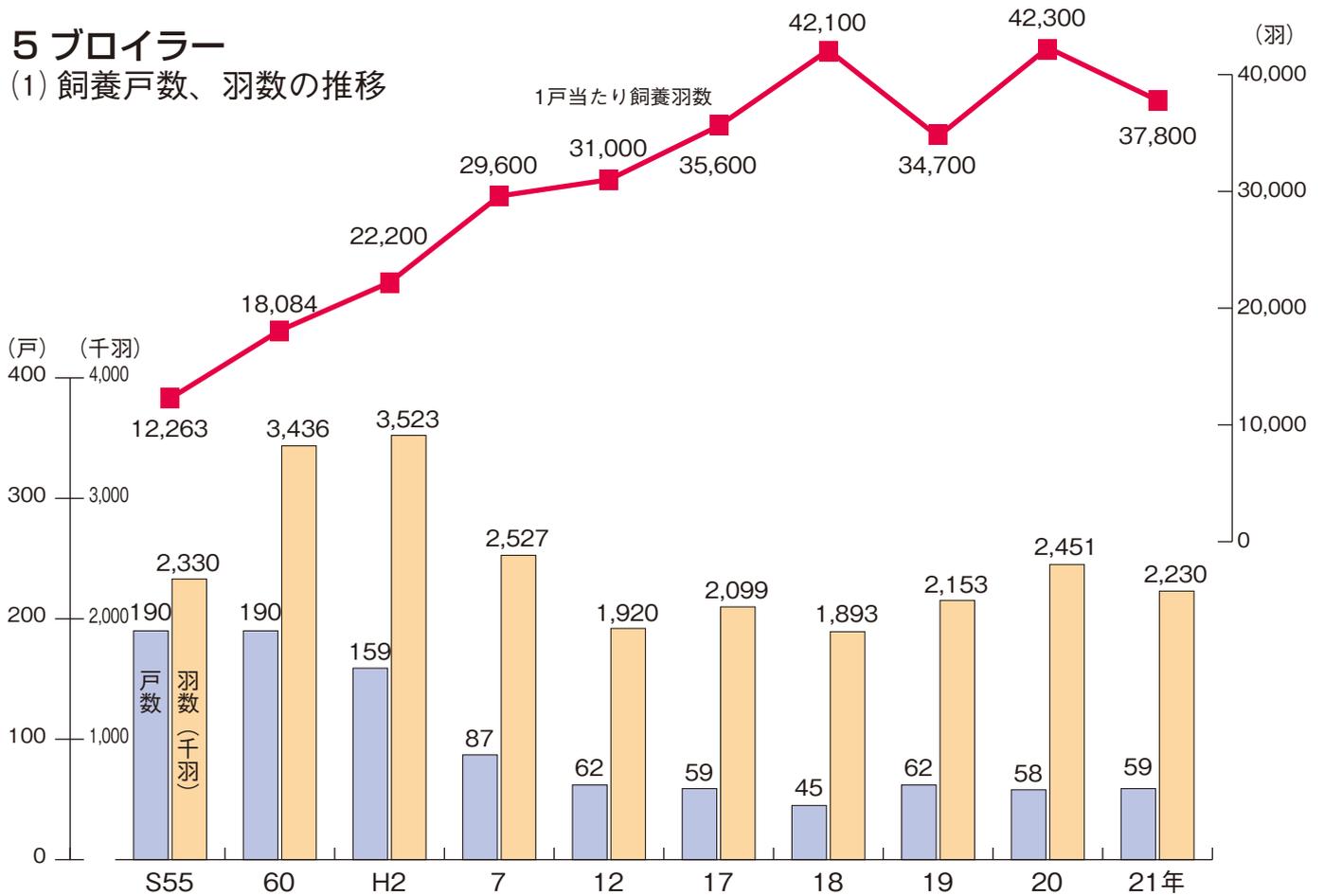
(5) 鶏卵の流通（平成22年）



資料：農林水産省「鶏卵流通統計」

5 プロイラー

(1) 飼養戸数、羽数の推移

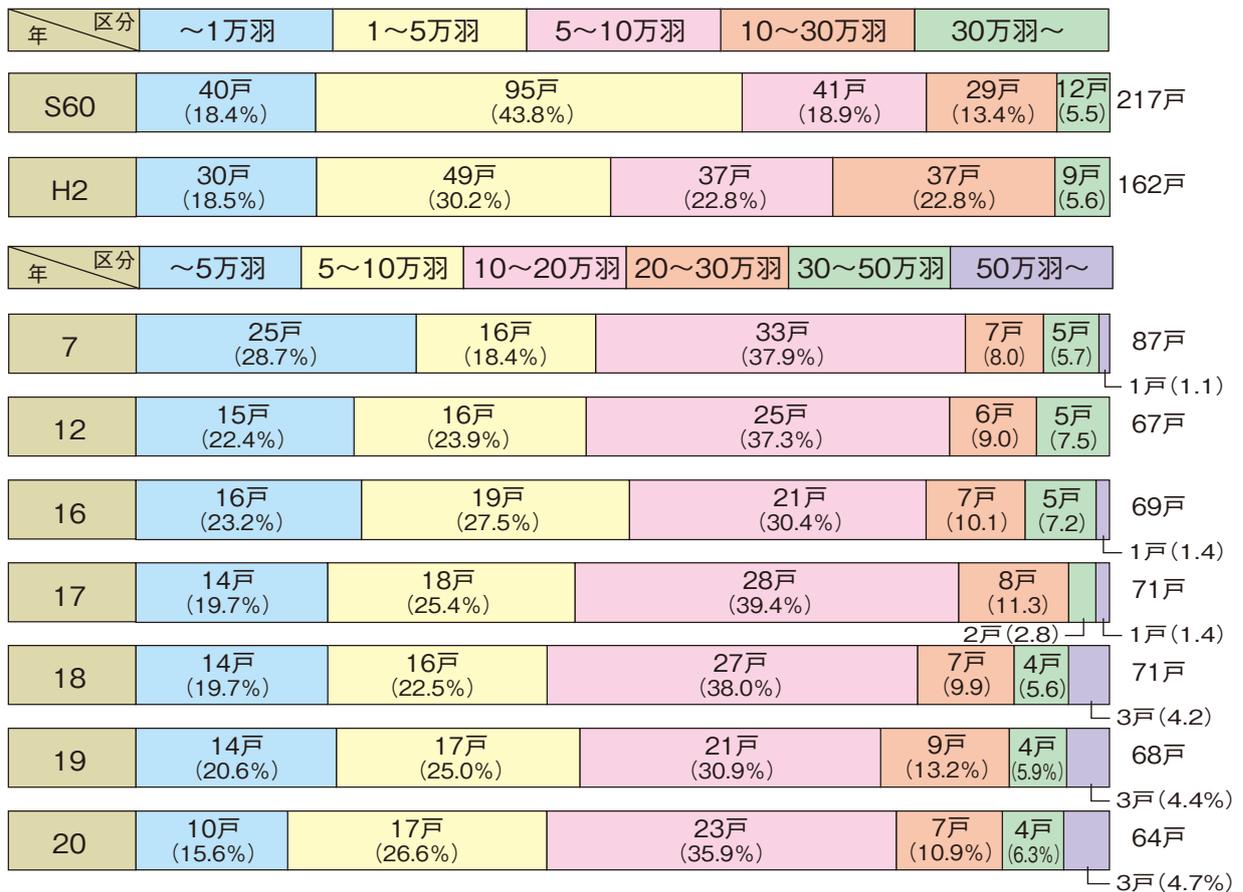


資料：農林水産省「食鳥流通統計」

※この統計は、2月1日現在のプロイラー飼養戸数及び飼養頭数を調査したもので、一時的に鶏舎消毒のためオールアウトしていた等により、プロイラーを飼養していない飼養者は除外したものである。

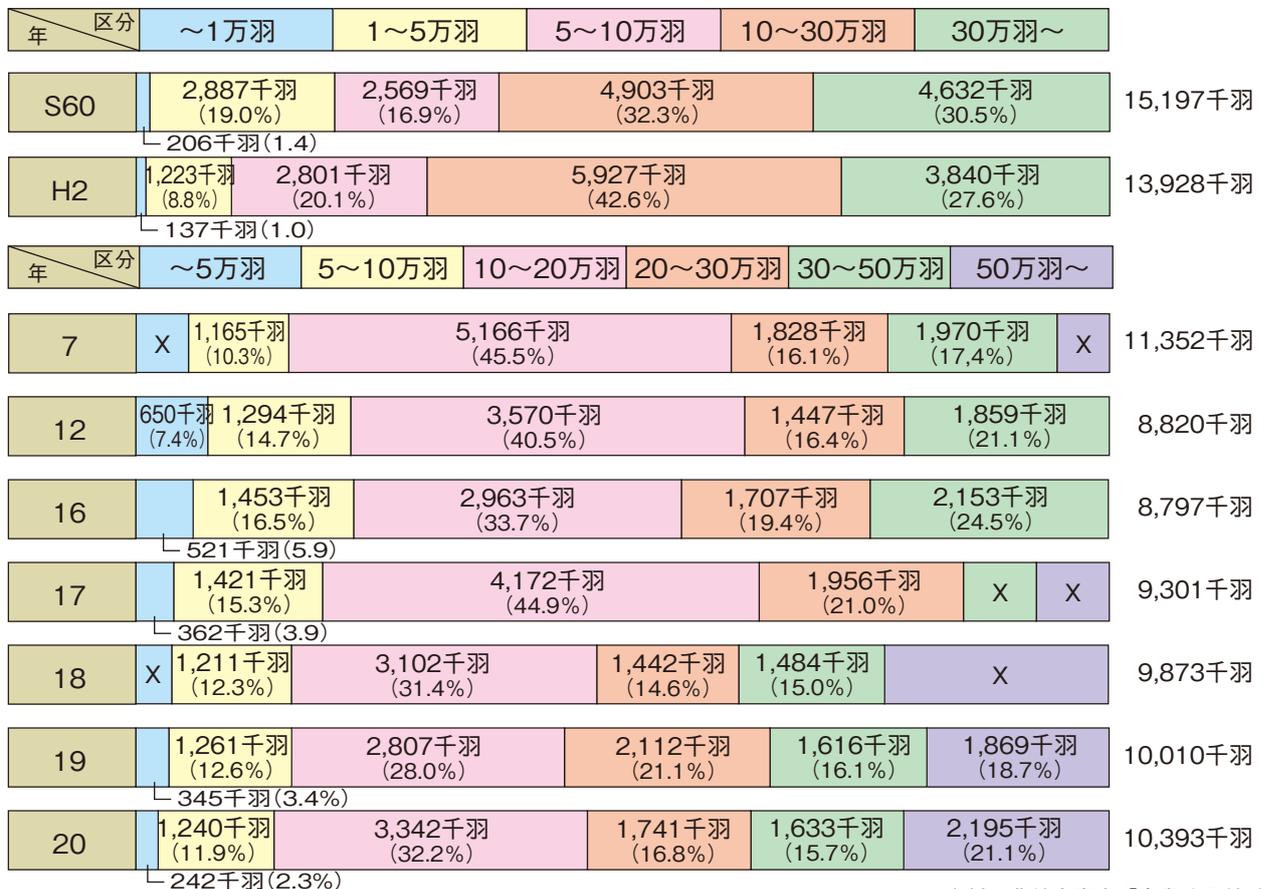
※H22年は農林業センサス実施年で調査未実施、H23は未公表のため、H21年2月1日時点の数値を記載。

(2) 出荷羽数規模別出荷戸数の推移



資料：農林水産省「食鳥流通統計」

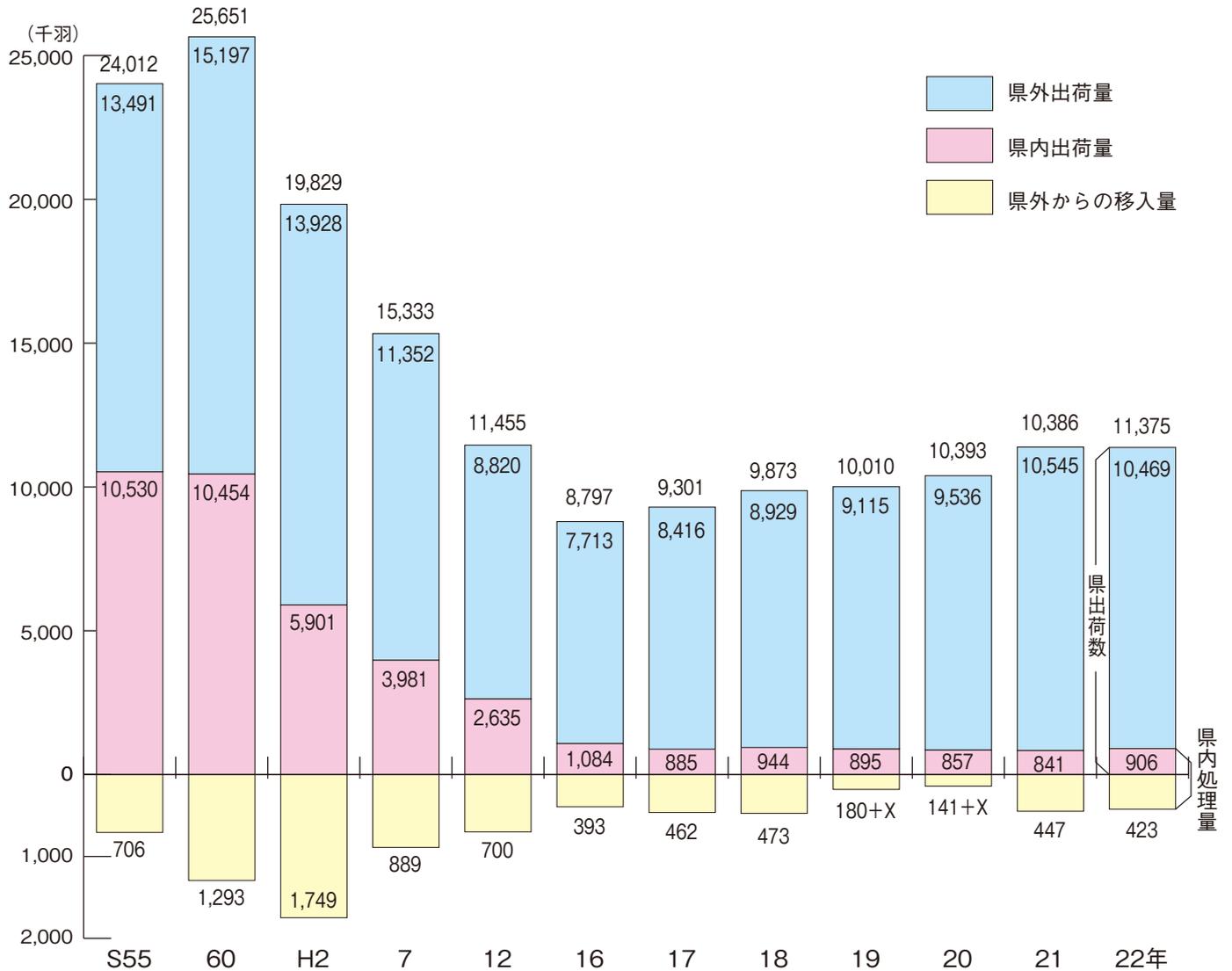
(3) 出荷羽数規模別出荷羽数の推移



資料：農林水産省「食鳥流通統計」

(注) 表中の「X」は少数調査農家の秘密保護上統計値を公表しないものである。  
H21以降公表なし

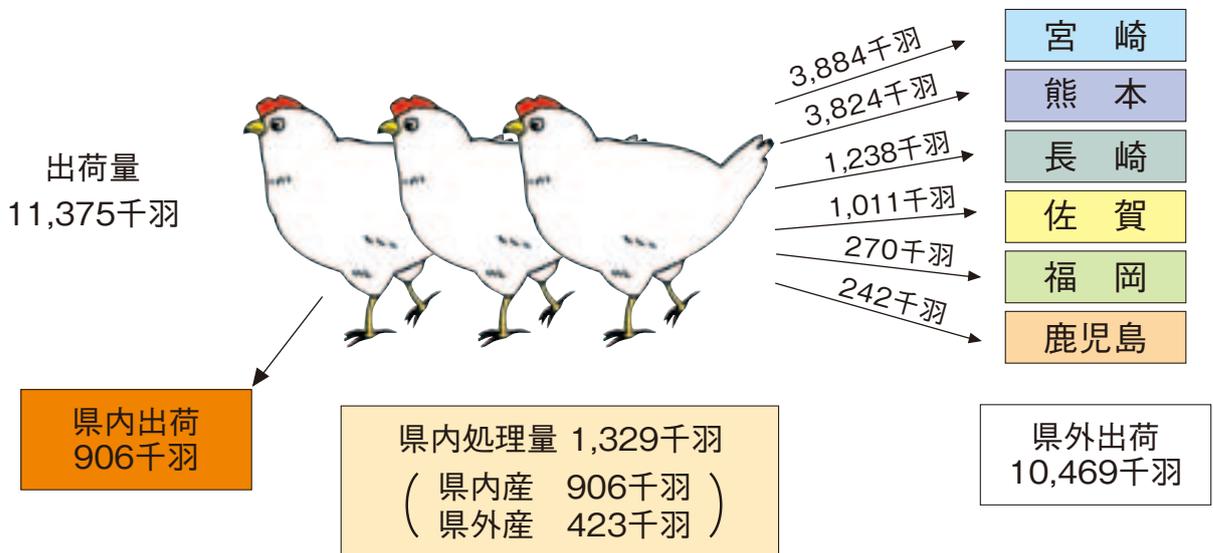
(4) ブロイラー出荷、処理状況



(注) 出荷量：飼養から食用に供するために食鳥処理場へ出荷された食鳥(生体)をいい、生産者が自家消費した量は含まれない。  
 食鳥処理場：食用に供する目的でと鳥処理を行っている事業所(飼養者が自家用としている場合は含まない)のこと。  
 表中のXは少数調査農家の秘密保護上統計値を公表しないものである。

資料：農林水産省「食鳥流通統計」

(5) ブロイラーの流通 (平成22年)

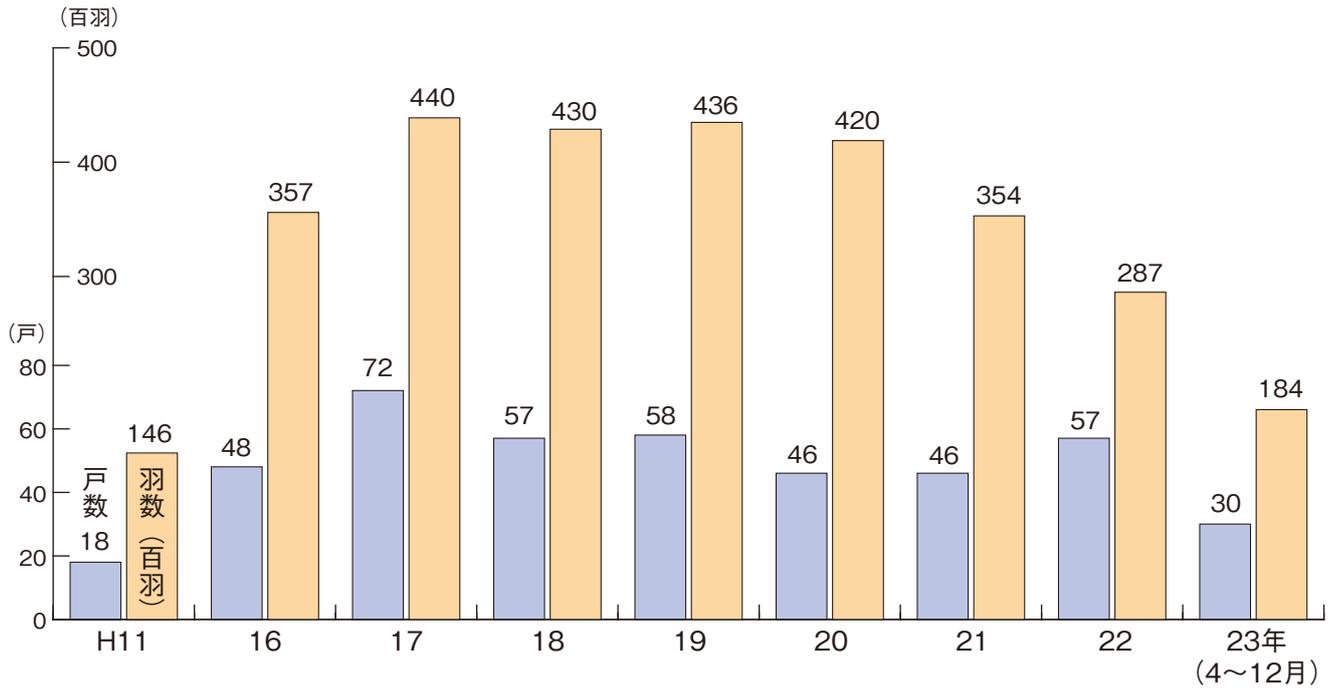


資料：農林水産省「食鳥流通統計」

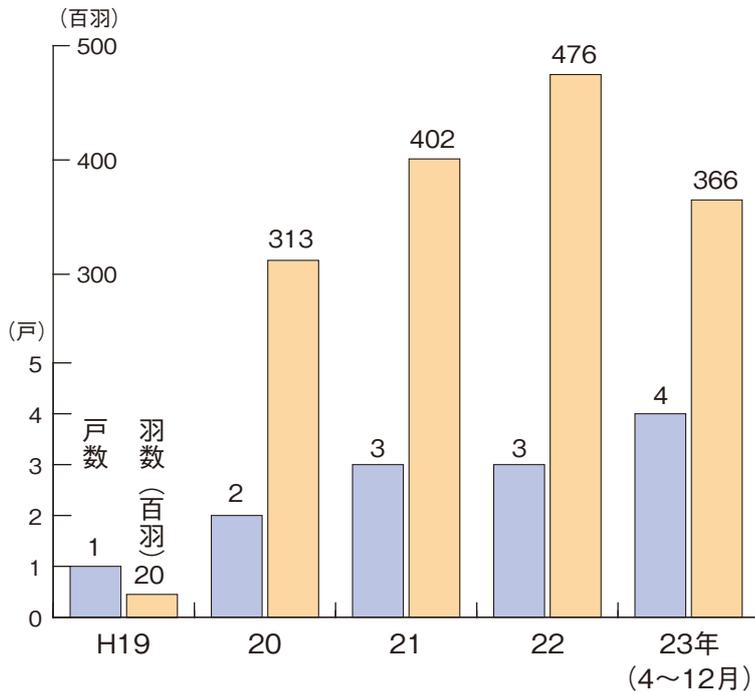
## 6 地鶏

### (1) 飼養戸数、雛導入実績及び取り扱い店状況

#### ① 豊のしゃも



#### ② おおいた冠地どり



#### ③ 地鶏取り扱い店

##### 豊のしゃも取り扱い店 (H22.10現在)

- ・ 県内販売店 12店
- ・ 県内料理店 36店
- ・ 県外販売店 1店
- ・ 県外料理店 22店
- 計 71店

##### おおいた冠地どり取り扱い店 (H22.8現在)

- ・ 県内量販店 41店
- ・ 県内料理店 169店
- ・ 県外量販店 1店
- ・ 県外料理店 16店
- ・ その他 56店
- 計 283店



豊のしゃも



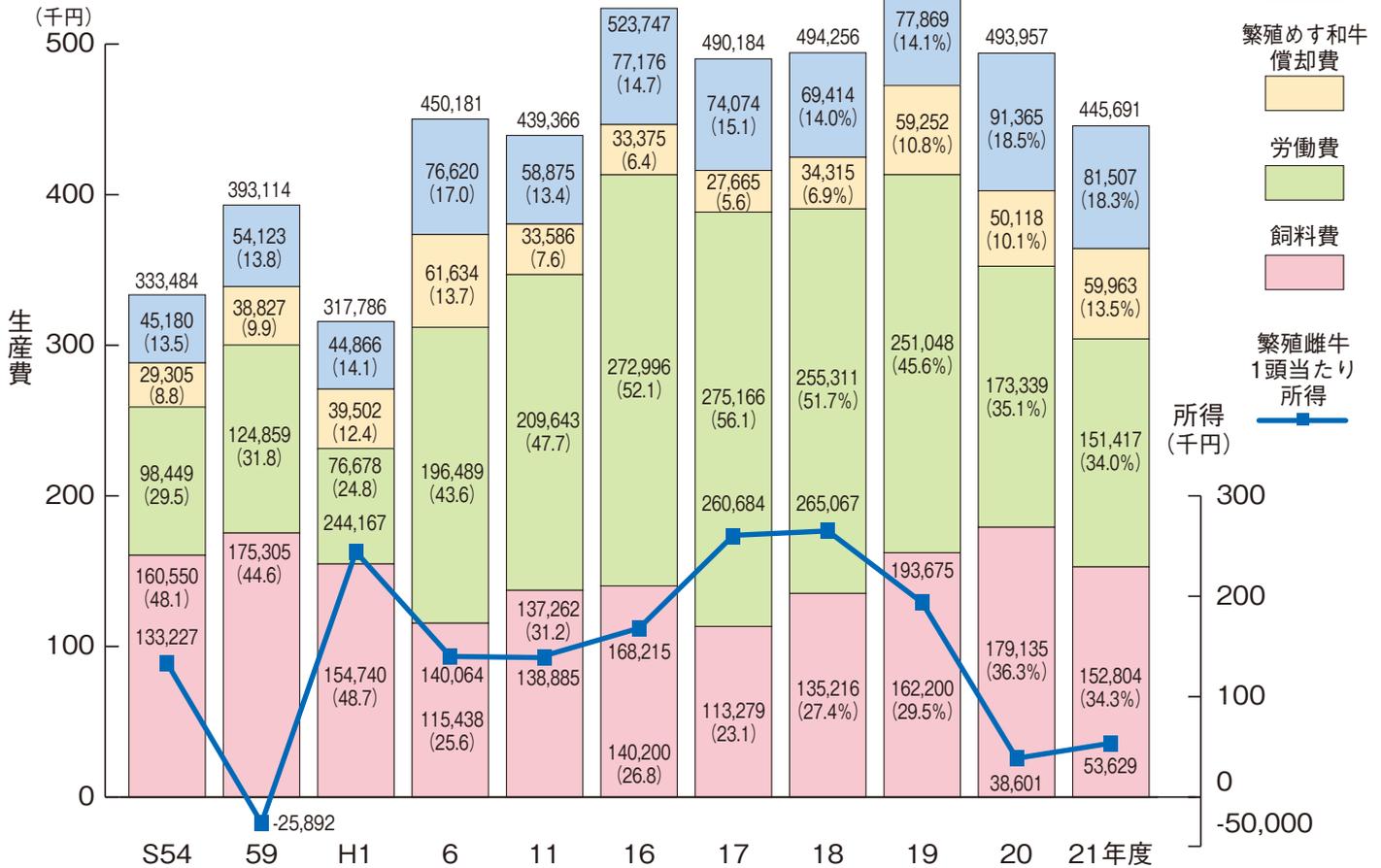
おおいた冠地どり



おおいた鳥骨鶏

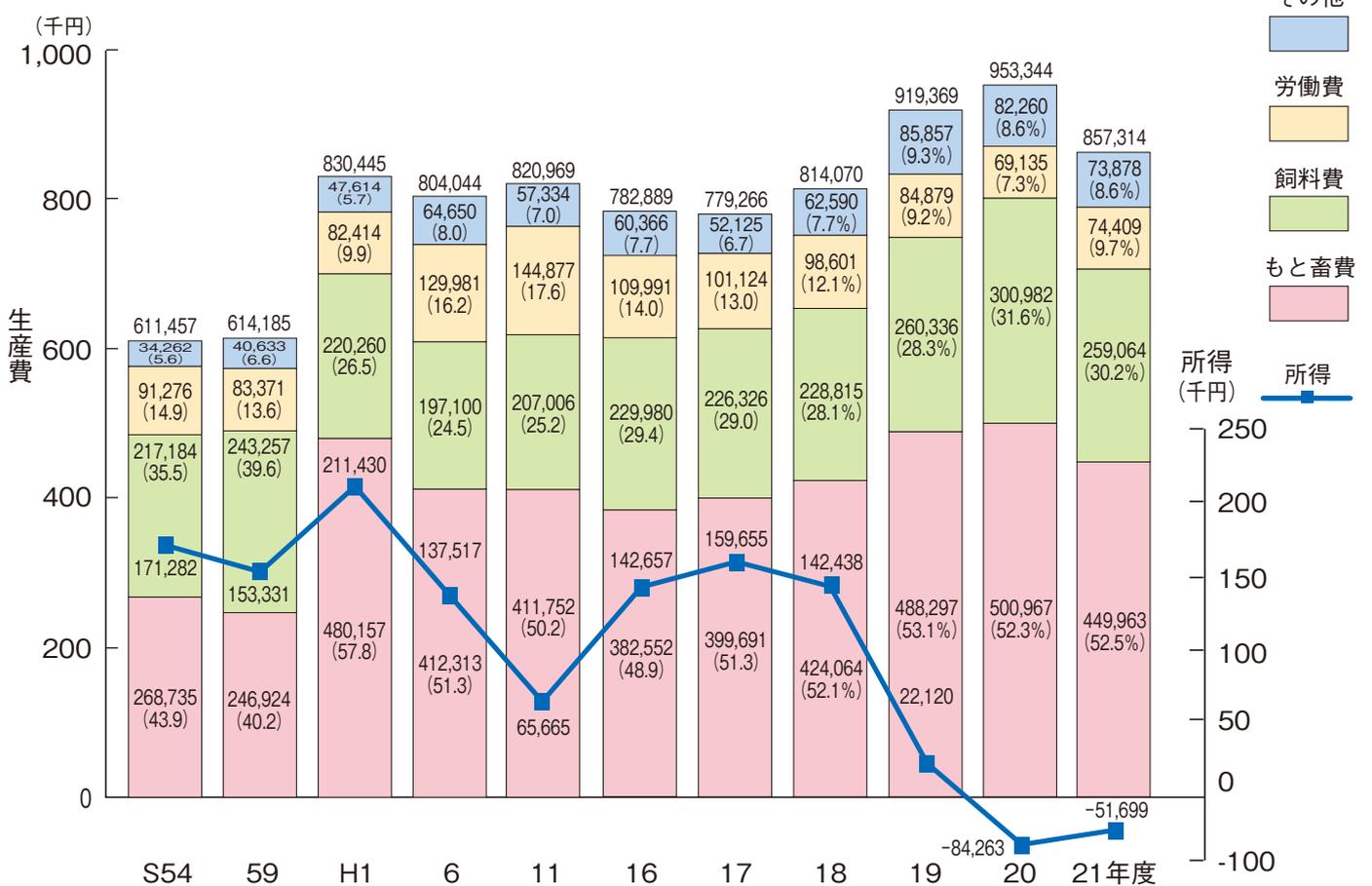
## 7 生産費と所得の推移

### (1) 子牛生産費と所得の推移 (子牛1頭当たり)



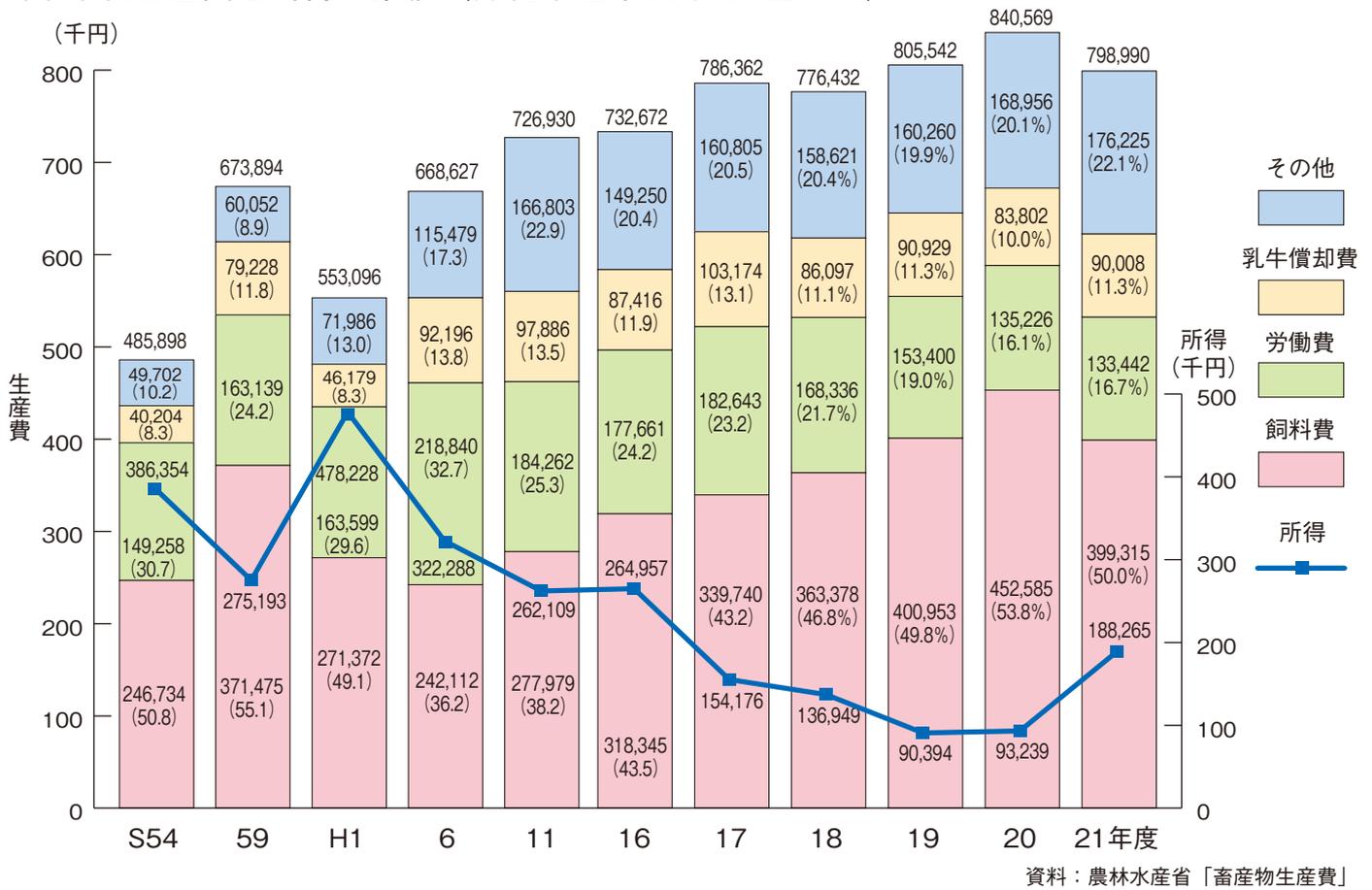
資料：農林水産省「第57次大分県農林水産統計年報」

### (2) 肥育牛生産費と所得の推移 (去勢肥育牛1頭当たり)

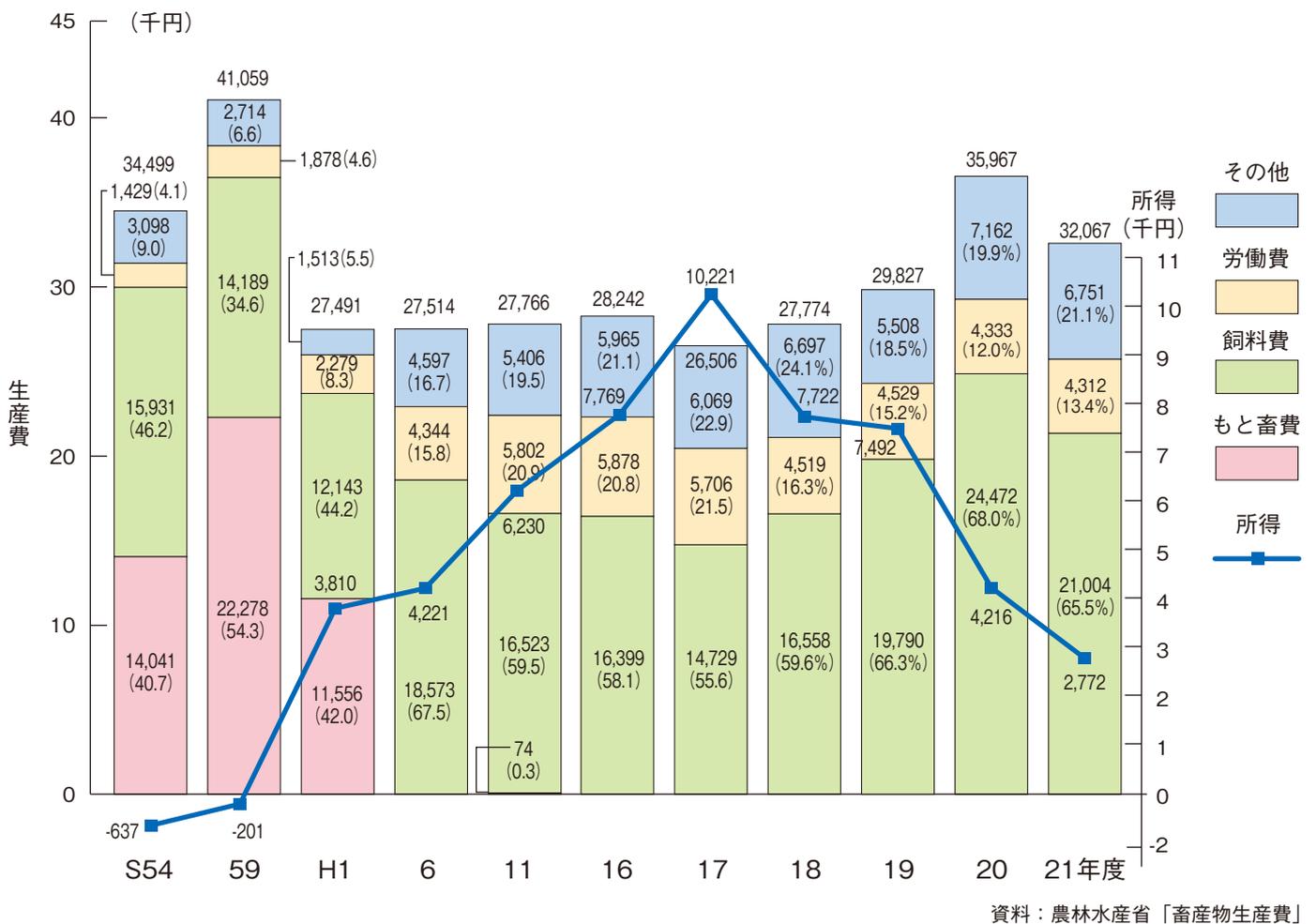


資料：農林水産省「第57次大分県農林水産統計年報」

### (3) 牛乳生産費と所得の推移（搾乳牛1頭当たり）



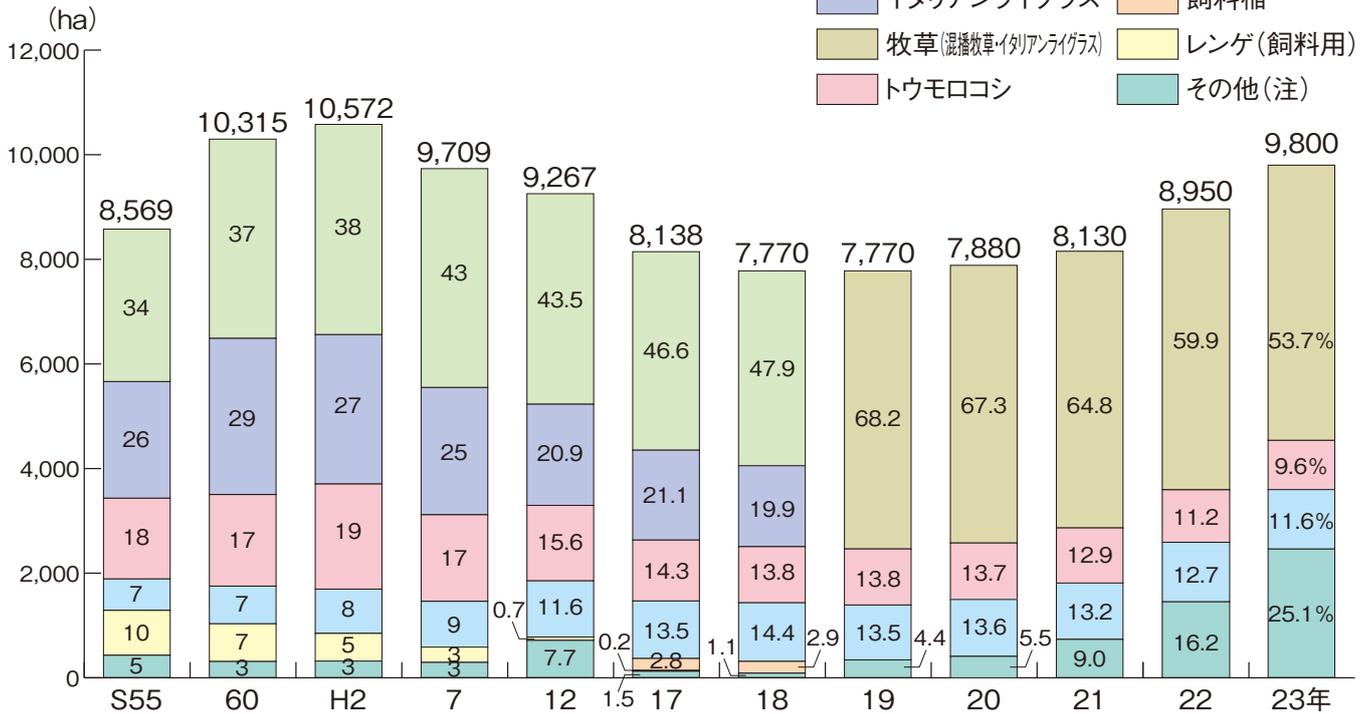
### (4) 肥育豚生産費と所得の推移（肥育豚1頭当たり）



### Ⅲ 飼料

#### 1 飼料作物作付状況

飼料作物作付面積の推移



(注) 平成16年までの「その他」は、飼料稲、えん麦、らい麦、飼料用かぶ、その他の牧草・飼料作物の合計である。

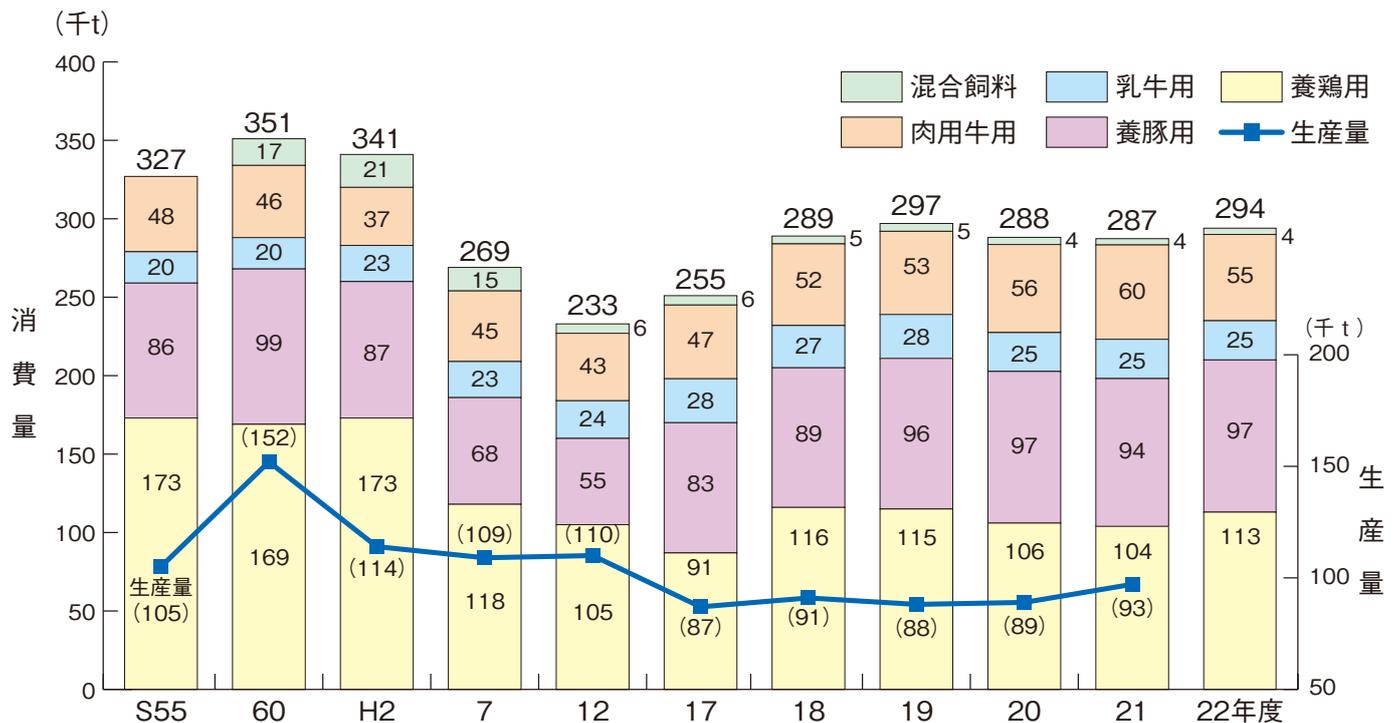
平成17年より「その他」は、えん麦、らい麦、飼料用かぶ、その他の牧草・飼料作物の合計である。

平成19年より「その他」は、青刈り麦類、その他の飼料作物(飼料稲含む)の合計である。

資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

#### 2 配合混合飼料

畜種別配合混合飼料の県内生産量及び消費量の推移



(注) 混合飼料：行政や流通の上から、ある特定成分の補給又は輸入関税の免税措置を受けられることを目的に製造される配合飼料の一種。

配合飼料：2種類以上の飼料原料を一定の割合で混合したもの。我が国では一般に家畜・家きんの種類や飼料目的に応じて、必要な養分を十分含むように市販されているものが多い。

四捨五入の関係で内訳の計は必ずしも総数に一致しない。

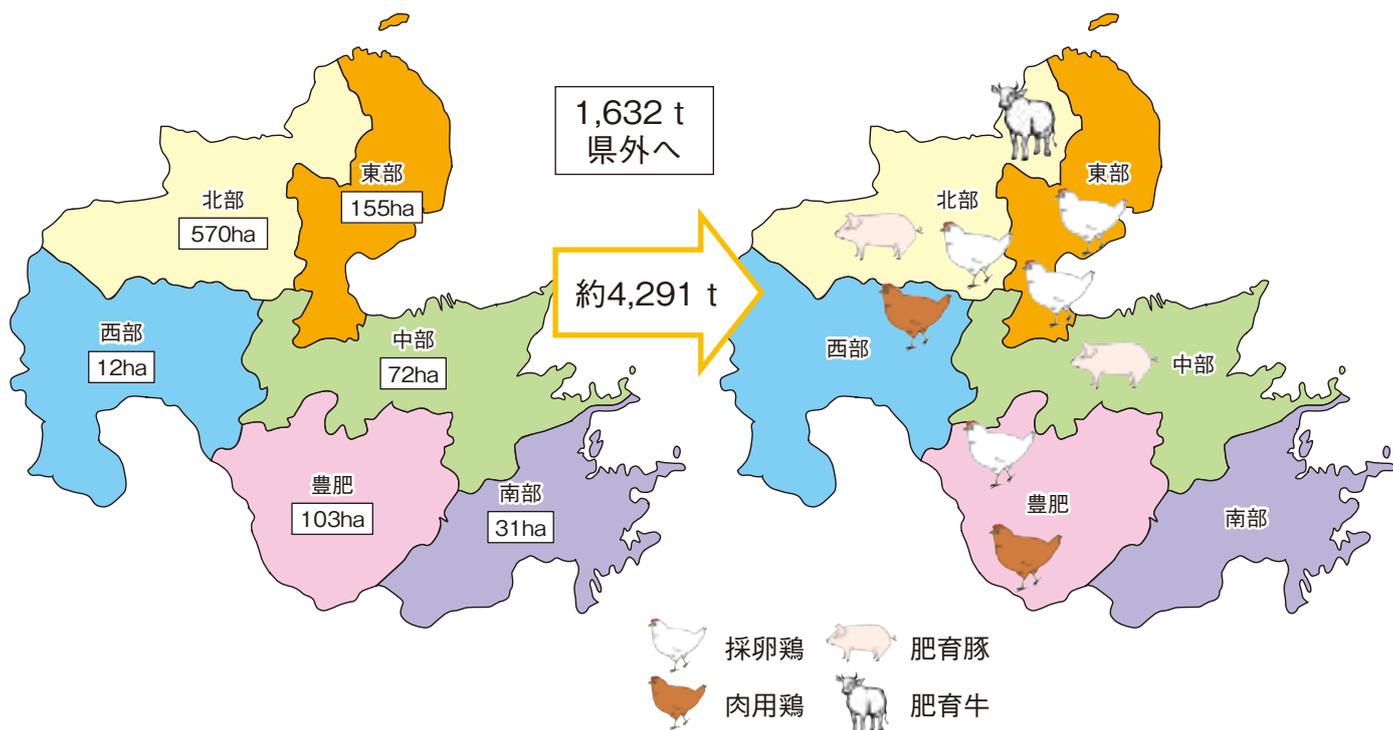
資料：飼料月報

### 3 飼料用米の取組状況

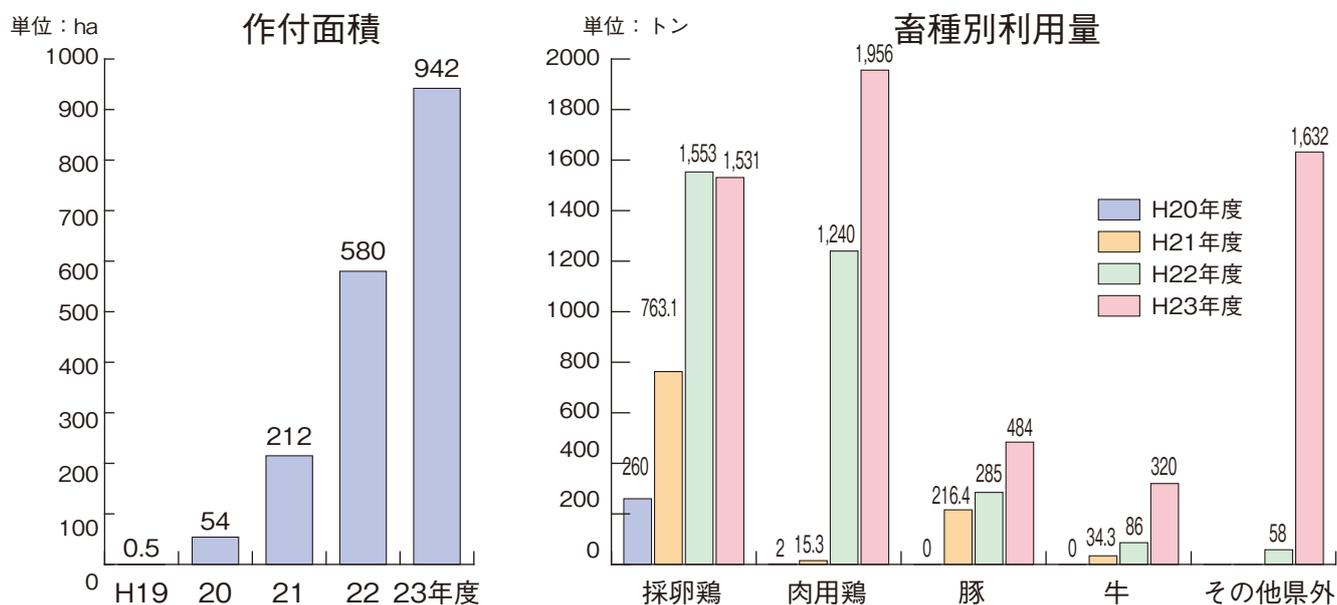
#### (1) 県内における平成23年産の生産・利用状況（H23.8月末時点の計画数量）

《飼料用米作付面積（約943ha）》 ※採種圃約4ha除く

《主な利用状況》



#### (2) 作付面積・利用状況の推移（H23.8月末時点の計画数量）



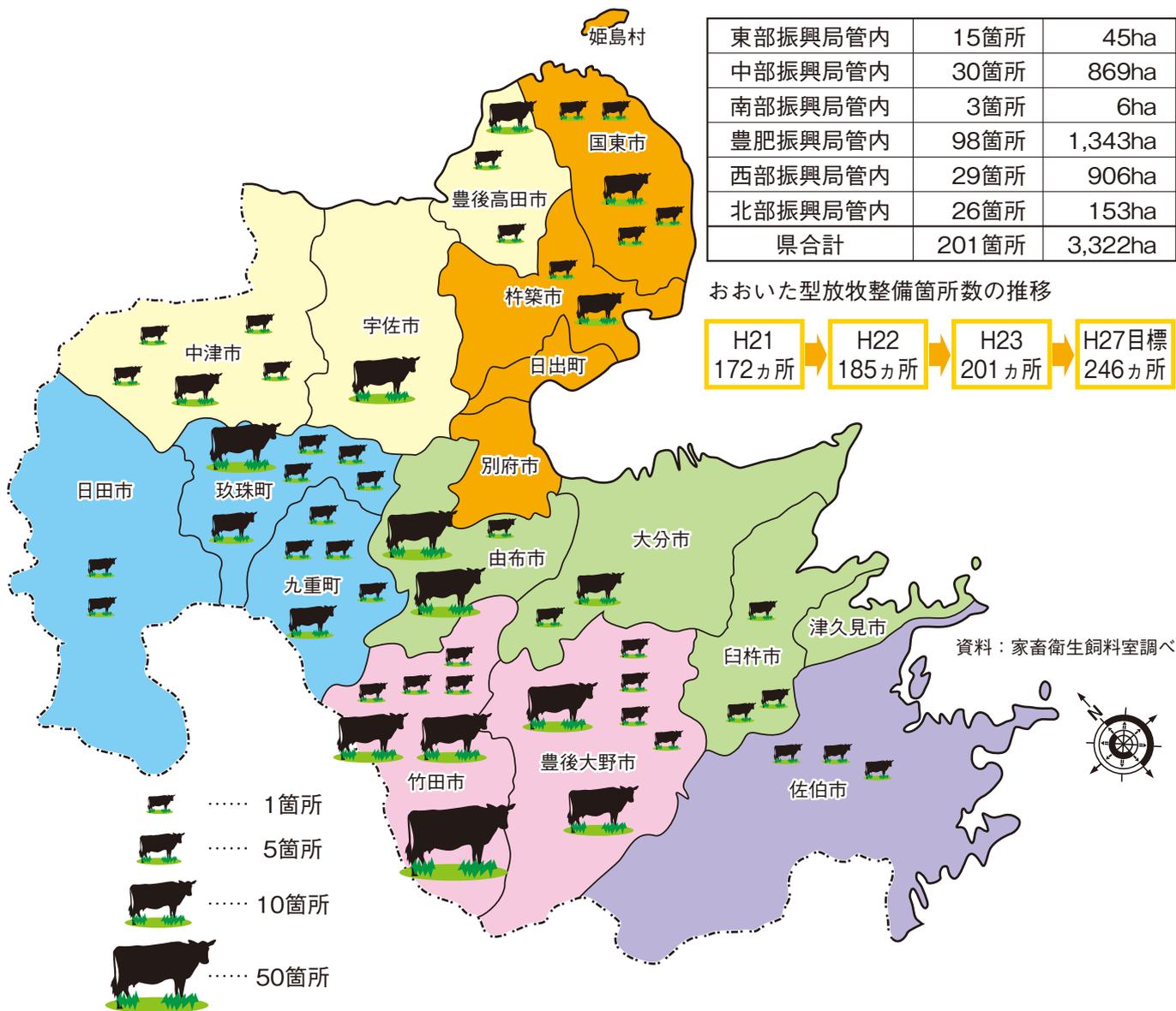
※H19年度は給与実証試験を実施



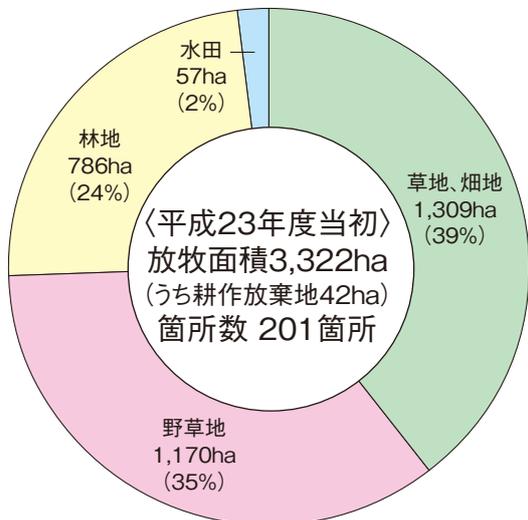
飼料用米を給与した畜産物の高付加価値化を図る取組み  
(大分市内の量販店でのPR販売を実施)

## 4 放牧の取り組み状況

### (1) 大分県内における「おおいた型放牧」分布図（平成23年度当初）



### (2) おおいた型放牧面積の地目別内訳



水田放牧（由布市挾間町朴木地区）

(注) おおいた型放牧

草地、林地、水田及び耕作放棄地などを活用して牛を放牧するもので、中山間地域の多い大分の土地や自然に適した放牧方式。

# IV 家畜衛生・畜産環境

## 1 監視伝染病の発生状況

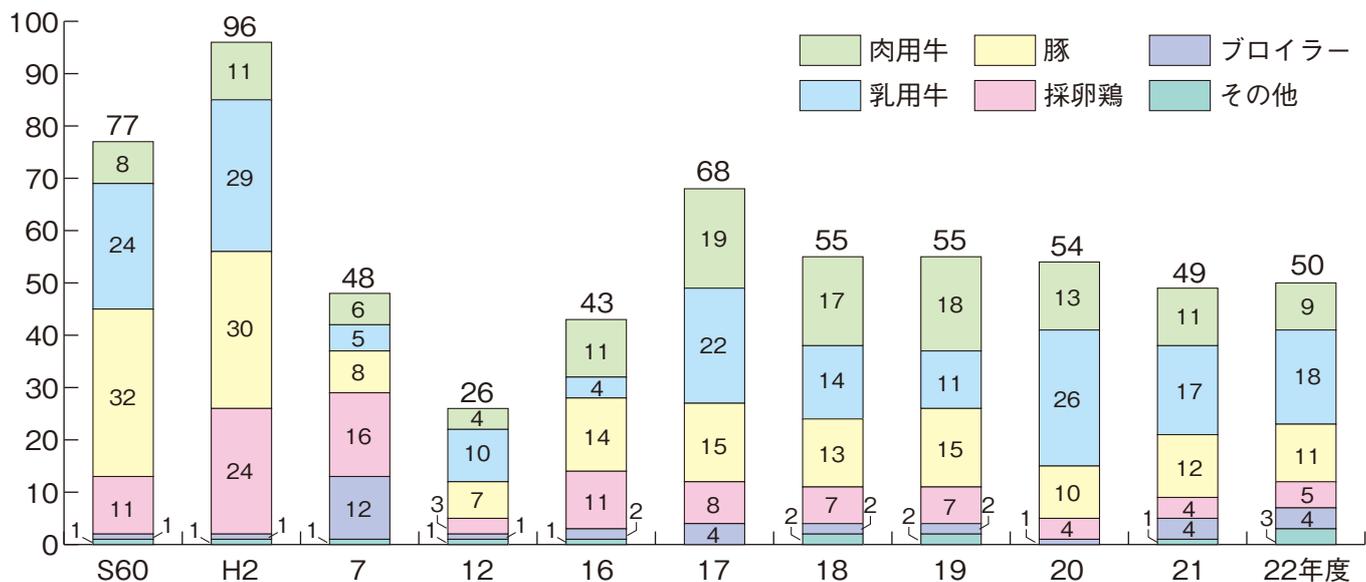
区分	監視伝染病																																						
	法定伝染病										届出伝染病																												
	炭疽	結核病	ヨーネ病	性馬貧血	豚コレラ	ツヌル病	ネラ感染	家さんサルモ	ンフルエンザ	高病原性鳥	ふそ病	アカバネ病	鼻気管炎	牛白血病	牛白血病	ルス感染	アイノウイ	病イバラ	破傷風	気腫疽	ネオスポラ	下痢粘膜炎	牛ウイルス	キーエス	胃腸炎	伝染性	豚丹毒	サルモネラ	マレック病	気管性	伝染性	ロイコチ	鶏痘	悪性カタル	レプトスピ	豚PRRS	豚赤痢		
牛豚	牛	牛	馬	豚	鶏	鶏	鶏	鶏	鶏	み	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	豚	豚	豚	豚	牛豚	鶏	鶏	鶏	鶏	牛	犬	豚	豚					
S50				2	1,697					291									10																				
51			1		120					80																													
52																																							
53																																							
54																																							
55																								1,843															
56																																							
57	1																								4,011														
58					19,427					66															1,584	1													
59										3																10													
60										113																37													
61										29																5													
62																19	3									14													
63																										16													
H元						2,276													2							15													
2		1								10									3					36		18													
3																										12													
4																										14													
5																										12													
6																										12													
7																										12													
8																										11													
9			3													2									30	17													
10											11	1	17	2											6														
11											21		31	10				2							4	2	69	1,600											
12													19					1	8	1					2														
13			1										11					2							3									1	2				
14			1										24												40	42	110								1				
15			13									14	61					1		2				150	127	48	2												
16			8					7	1			3	53				1	1	1	1					76	4										1			
17			2										49												84	5	9												
18			10							1	12	71													102	3	6										4		
19			5								1	30													66														
20			5									38								1					90	9													
21			9								2	42													149	5			6	100						2	7		
22			6							1	1	44													136	2													

※印の疾病は平成9年度まで法定伝染病  
資料：家畜衛生飼料室調べ

## 2 環境汚染問題畜種別発生件数

### (1) 畜種別苦情発生件数

(件)

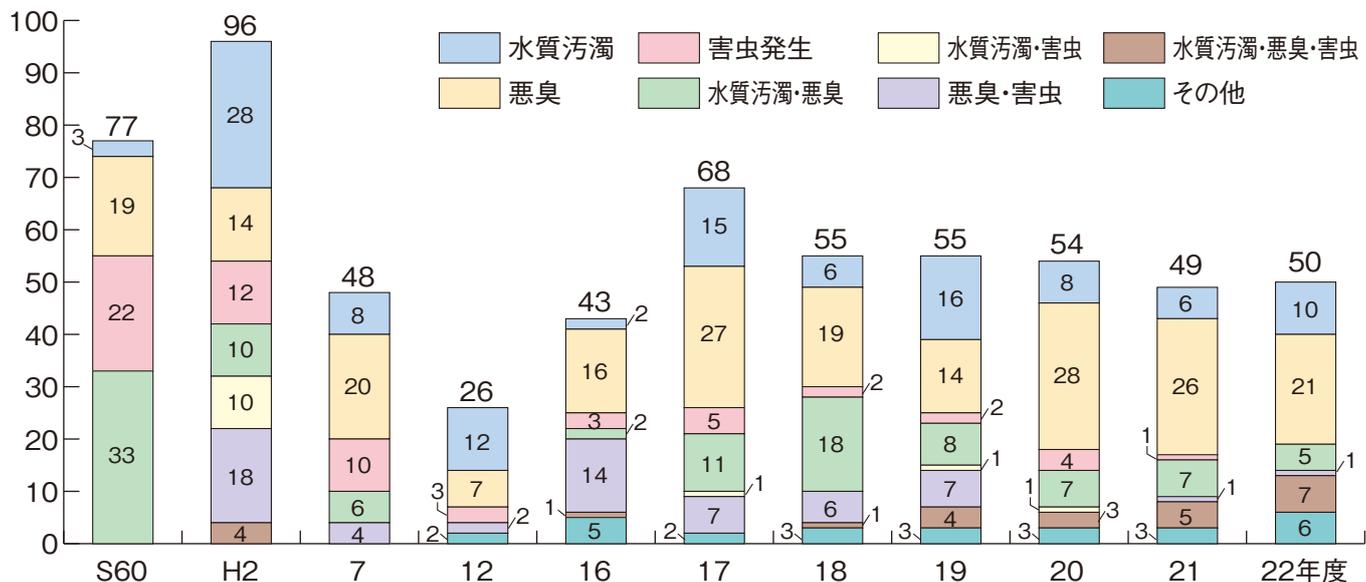


(注) 各年度の調査期間は当該年度の7月から翌年の6月までである。

家畜衛生飼料室調べ

### (2) 種類別苦情発生件数

(件)



(注) 各年度の調査期間は当該年度の7月から翌年の6月までである。

家畜衛生飼料室調べ



口蹄疫防疫演習の風景(集会場)



口蹄疫防疫演習の風景(埋却地)

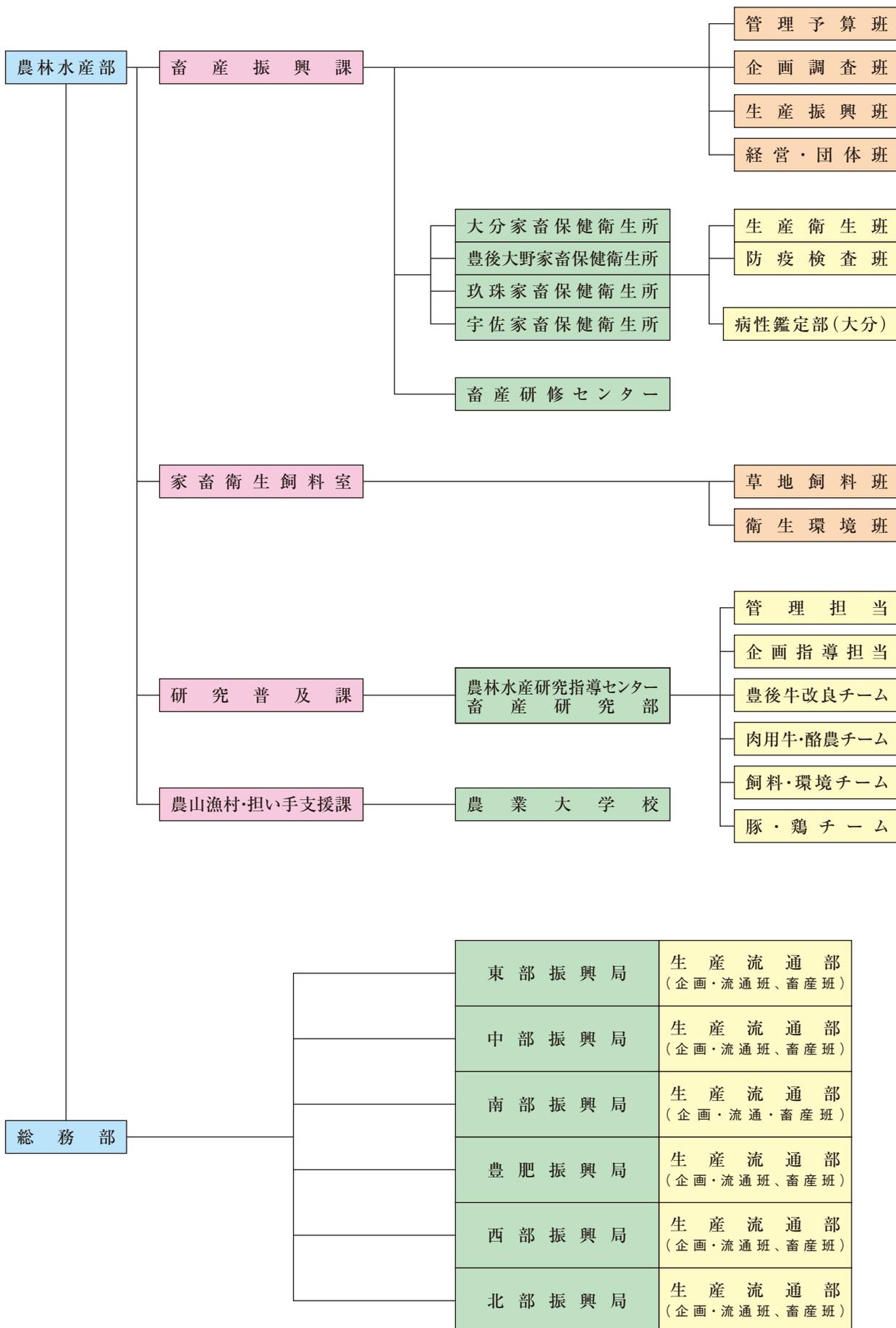
## (資料1)

## 畜産関係団体等一覧

名 称	代表者	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
(社)大分県畜産協会	近藤 和義	870-0844	大分市古国府1220JA全農大分県本部内	097-545-6591	554-4049
大分県家畜人工授精師協会	森川 英則	870-8501	大分市大手町3-1-1県庁家畜衛生飼料室内	097-506-3684	506-1762
大分県草地飼料協会	坂本 和昭	870-8501	大分市大手町3-1-1県庁家畜衛生飼料室内	097-506-3682	506-1762
(社)大分県配合飼料価格安定基金協会	帆秋 忠俊	870-0025	大分市顕徳町2-1-3カ-サ阿部203	097-534-2727	534-0991
大分県家畜商業協同組合	石田 和男	870-0044	大分市舞鶴町1-4-15大分県農業会館内	097-532-8577	532-8582
(社)大分県獣医師会	麻生 哲	870-0901	大分市西新地1-2-29	097-555-9527	555-9528
(株)大分県畜産公社	佐藤 洋	879-7305	豊後大野市犬飼町田原1580-29	097-578-0290	578-0308
(有)大分県酪農振興公社	榎木 成男	870-1201	大分市廻栖野3231(大分県酪内)	097-586-4222	586-4226
(社)全国和牛登録協会大分県支部	佐藤 政吉	870-0044	大分市舞鶴町1-4-15大分県農業会館内	097-532-8577	532-8582
大分県養豚協会	福田 実	870-0844	大分市古国府1220(大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
大分県養鶏協会	鈴木 明久	870-0844	大分市古国府1220(大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
大分県養蜂組合	近藤 純一	879-0601	豊後高田市草地8767	0978-24-1231	—
大分県食肉事業協同組合連合会	清田 浩徳	870-1121	大分市鴛野929-3	097-529-6544	529-6599
大分県農業協同組合中央会	佐藤 洋	870-0044	大分市舞鶴町1-4-15大分県農業会館内	097-538-6366	538-7125
大分県信用農業協同組合連合会	秋國 崇己	870-0044	大分市舞鶴町1-4-15大分県農業会館内	097-538-6385	535-2746
全国農業協同組合連合会大分県本部	幸野 茂巳	870-0844	大分市古国府1220	097-544-0046	545-9532
大分県農業共済組合連合会	日野 立明	870-0822	大分市大道町3-1-1	097-544-8110	544-8242
大分県酪農業協同組合	清末 健一	870-1201	大分市廻栖野3231	097-586-4222 (管理部)	586-4226
九州乳業株式会社	江川 清一	870-1201	大分市廻栖野3231	097-586-4135	586-4136
(社)大分県酪農ヘルパー協会	清末 健一	870-1201	大分市廻栖野3231(大分県酪内)	097-586-4225 (酪農部)	586-4226
大分県牛乳普及協会	清末 健一	870-1201	大分市廻栖野3231(大分県酪中央支所内)	097-586-4094	586-4095
(株)大分県酪食肉公社	宇野 幸一	870-0108	大分市大字三佐字新港2405-2	097-521-4452	522-2743

(資料2-1)

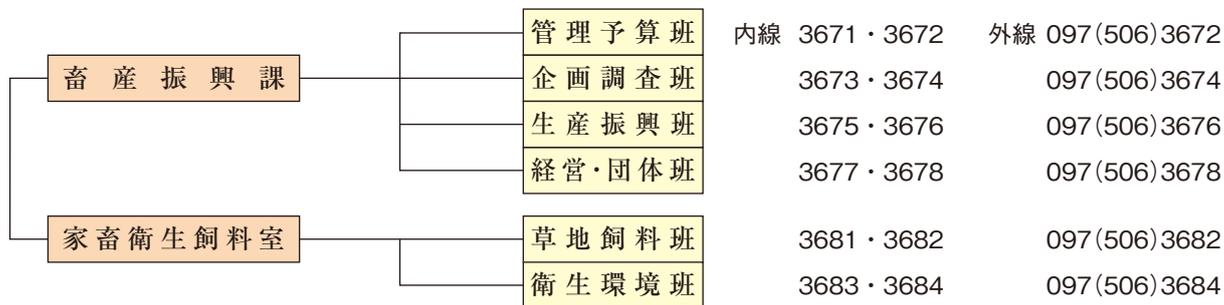
畜産関係機関県組織機構 (平成23年5月1日現在)



(資料2-2)

畜産関係機関県組織機構 (平成23年5月1日現在)

**農 林 水 産 部** 〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号 TEL 097(536)1111 FAX 097(506)1762



**畜産研究部** 〒878-0201 竹田市久住町大字久住3989-1 TEL 0974(76)1216 FAX 0974(76)1227

豚・鶏チーム 〒879-7111 豊後大野市三重町赤嶺2328-1 ♪ 0974(22)0673 ♪ 0974(22)0980

**畜産研修センター** 〒878-0201 竹田市久住町大字久住3989-1 ♪ 0974(76)1214

**大分家畜保健衛生所** 〒870-1153 大分市大字小野鶴字原 ♪ 097(541)5241 ♪ 097(542)0086

**豊後大野家畜保健衛生所** 〒879-7111 豊後大野市三重町赤嶺2328-8 ♪ 0974(22)0179 ♪ 0974(22)7762

**玖珠家畜保健衛生所** 〒879-4414 玖珠郡玖珠町大字大隈1038-1 ♪ 0973(72)0313 ♪ 0973(72)4674

**宇佐家畜保健衛生所** 〒879-1135 宇佐市大字和気1290 ♪ 0978(37)0473 ♪ 0978(37)3310

**東部振興局 生産流通部** 〒873-0504 国東市国東町安国寺786-1 **企画・流通班** TEL 0978(72)1141 FAX 0978(72)1242  
**畜産班** ♪ ♪ ♪ ♪

**中部振興局 生産流通部** 〒870-0021 大分市府内町3丁目10-1 **企画・流通班** TEL 097(506)5796 FAX 097(506)1814  
**畜産班** ♪ 097(506)5766 ♪ ♪

**南部振興局 生産流通部** 〒876-0813 佐伯市長島町1-2-1 **企画・流通・畜産班** TEL 0972(22)1195 FAX 0972(23)0942

**豊肥振興局 生産流通部** 〒878-0013 竹田市大字竹田山手1501-2 **企画・流通班** TEL 0974(63)3177 FAX 0974(63)3585  
**畜産班** ♪ ♪ ♪ ♪

**西部振興局 生産流通部** 〒877-0004 日田市城町1-1-10 **企画・流通班** TEL 0973(23)2217 FAX 0973(23)3473  
**畜産班** ♪ ♪ ♪ ♪

**北部振興局 生産流通部** 〒879-0454 宇佐市大字法鏡寺235-1 **企画・流通班** TEL 0978(32)1555 FAX 0978(33)2901  
**畜産班** ♪ ♪ ♪ ♪

(資料3)

豊後牛らしさを  
後代に継承する

# 種雄牛

豊後牛  
大分県産の黒毛和牛



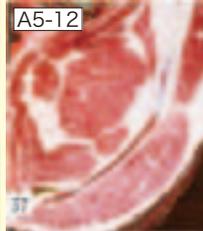
神戸合同調査会(全国和牛登録協会主催)において3年連続トップクラス!!

平成22年度合同調査会

## 玉吹雪

藤平茂-平茂勝-初藤

枝肉重量、ロース芯面積  
バラ厚、脂肪交雑(平均  
11)で高評価。気高の強い  
血統であり糸桜系、但  
馬系雌牛との交配を推奨。  
現場後代検定中!



枝肉重量(kg) 518.8	枝肉重量(kg) 452.6	枝肉重量(kg) 474.9
ロース芯(cm) 56	ロース芯(cm) 68	ロース芯(cm) 72
バラ厚さ(cm) 8.7	バラ厚さ(cm) 7.8	バラ厚さ(cm) 8.3
皮下脂肪(cm) 3.0	皮下脂肪(cm) 2.6	皮下脂肪(cm) 2.8
BMS No. 9	BMS No. 12	BMS No. 12

## 勝福平

平成20年度合同調査会

平茂勝-糸福-第20平茂

平成20年度調査会では、  
肉質、枝肉重量、脂肪交  
雑がトップで、質量兼備  
の高い評価。産子の発育  
も良い気高系種雄牛。



合同調査会枝肉結果(A5-11、B5-10、B5-9、A5-8)

## 萬福8

平成21年度合同調査会

紋次郎-糸福-安金土井

平成21年度調査会では、  
脂肪交雑がトップ。糸桜  
系、気高系の雌牛と交配  
を推奨。



合同調査会枝肉結果(A5-9、A5-9、A5-9)

## 活躍中の種雄牛!



### 寿恵福

糸福-福鶴57-八重福

名牛「糸福」の後継牛。枝肉成績は全  
ての形質で高い評価。肉質、肉量とも  
に抜群の改良効果あり。保留促進中。



### 光照福

照長土井-安美土井-菊茂土井

純但馬系種雄牛で資質、品位に富み、  
体上線、肢蹄の強さ、乳器の良さに優  
れ、産子の発育も良好。ロース芯面積  
が大、形状も良好、小ザシ。



### 八重福栄

福栄-糸福-八重福

検定で4・5率88.2%、モモ抜けの良  
さは特筆。脂肪交雑育種価で種雄牛中  
最高。産子の発育、資質に優れ、気高  
系の雌牛との相性良好。



### 隆茂38

隆茂福-安福-糸花

気高系、但馬系、糸桜系の遺伝的寄与  
率がほぼ同等。肉質、肉量で高い評価。  
いずれの系統の雌牛にも交配可能。



### 藤平茂

平茂勝-初藤-清勇

糸桜系への交配で枝肉成績が良好。質  
量兼備の高い評価。産子の発育、体  
型、斉一性に優れる。



### 喜実金

金幸-第20平茂-忠福

間検で脂肪交雑4.0、歴代2位。糸桜  
系雌牛への交配で肉質、肉量の改良効  
果。体幅、後軀等の体型的な改良効  
果。



## ガンジーファーム

大分県竹田市久住町大字久住4004-56  
TEL0974-76-0760

久住山の山麓の高原には名前の由来にもなったガンジー乳牛が飼育されている。乳製品工場、レストランや資料館が点在し、自家製乳製品はおみやげにも最適。ふれあい牧場（羊、ヤギ等）、ポニーハウスも有る。



○駐車場/100台 ○売店/有 ○営業時間/9:00~17:00 ○レストラン/有 ○休日・休館日/無 ○搾乳体験(晴れの日のみ)/土・日・夏休み ○オリジナル牛乳・乳製品/牛乳、アイスクリーム、チーズ、ヨーグルト他

### 【アクセス】

◎電車 / JR豊肥本線豊後竹田駅下車、車で30分  
◎車 / やまなみハイウェイ(九州横断道路)  
瀬の本交差点から15分



## みどりマザーランド

〒870-1203 大分県大分市大字廻栖野3231  
TEL 097-586-4183 (九州乳業株) 平成12年4月開園

都市(大分市)に隣接した地域にあって、豊かな自然に恵まれた山と緑が織り成す雄大な景観に浸りながら、広大な芝地の中での遊観。複合的遊具等、変化に富んだ施設が整備され、四季を通じて広く住民の「交流の場」として利用されています。

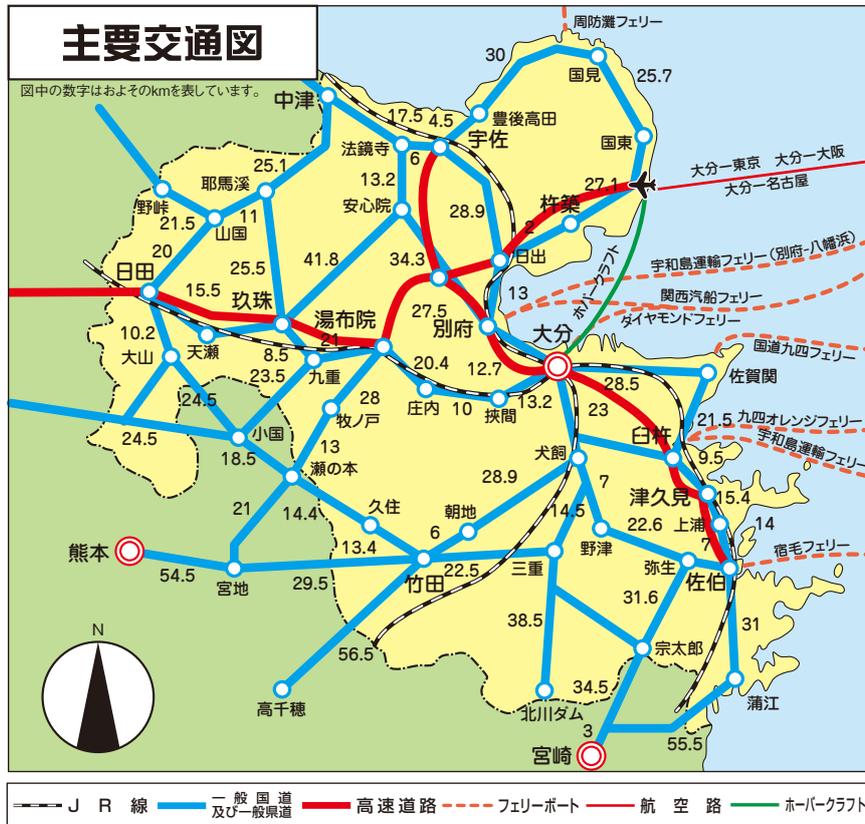


○駐車場/300台(イベント開催時1,000台)大型バス10台(イベント開催時20台) ○ふれあい・研修施設/ふれあい牧場、ふれあい公園施設、研修施設ふれあい棟・見学コース(製造行程) ○入園時間/9:00~17:00

### 【アクセス】

◎車 / 大分市中心街より20分





口蹄疫復興宝くじPR

(資料5)

平成23年 農林水産部畜産振興課・家畜衛生飼料室の主な出来事(1~12月)

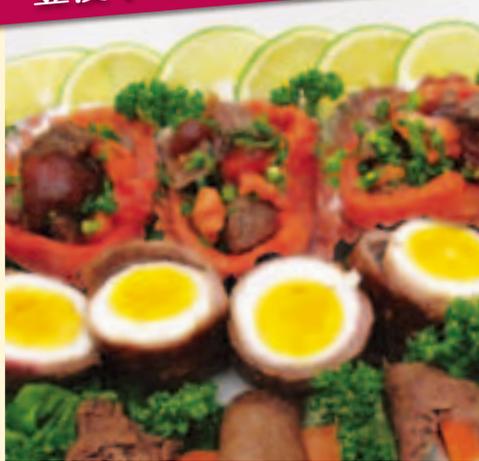
月 日	内 容
2月 2日	大分市で高病原性鳥インフルエンザが発生(採卵鶏 約8,100羽)
2月 3日	豊後牛の新しい美味しさの基準「豊味の証(うまいのあかし)」を策定
2月 8日	県種雄牛「玉吹雪」号が、全国和牛登録協会主催の「現場後代検定合同調査会」(神戸市)で、全国トップクラスの評価
2月14日	大分県種雄牛造成検討委員会設置
3月11日	東日本大震災発生
3月23日	「おおいた放牧ネット」が発足
5月16日	家畜伝染病防疫対策チーム(通称:B-SAT(ビーサット))が発足
5月19日	「これでいいのか!豊後牛」シンポジウムを大分市で開催 (大分県豊後牛生産者組織連絡協議会主催)
	
5月25日	「おおいた冠地どり」の食鳥処理施設が本格稼働
6月~8月	大分市内のマルシヨク・サンリブ3店舗で、県産飼料用米を給与した県産牛肉のPR販売を実施
8月 3日	第58回大分県肉牛枝肉共励会を大阪南港市場で開催
8月 9日	(株)安愚楽牧場が東京地裁に民事再生法の適用を申請し、事実上倒産
8月31日	飼料用イネの作付け及び利用促進の結果作付け面積が大幅に拡大 WCS利用は11,373ha(前年756ha)、飼料用米利用は942ha(前年583ha)
10月1日~11月30日	おおいた県産 牛乳 飲んでもらっちゃおう!キャンペーンを実施

## 平成23年 農林水産部畜産振興課・家畜衛生飼料室の主な出来事(1~12月)

月 日	内 容
10月 1日	第72回大分県畜産共進会(肉牛の部)を県畜産公社で開催
10月15日~25日	口蹄疫復興宝くじ発売
10月22日	第72回大分県畜産共進会(肉用牛の部)を別府市野口原で開催
10月22日~23日	県農業祭会場において、畜産フェスタイベントを実施
10月26日	「The・おおいた豊後牛」取扱い認定店が157店舗に拡大(3月末136店舗)
10月27日	大分県特定家畜伝染病(H P A I)防疫演習を実施(竹田市)
	
10月28日	「大分県種雄牛の造成方針」を大分県種雄牛造成検討委員会が策定
11月1日~30日	「The・おおいた豊後牛」モ〜っともっと召し上がれ！キャンペーンを実施
	
11月4日~5日	第50回全国農林水産祭「実りのフェスティバル」において、豊後牛(株まるひで)のPRを実施
11月 6日	第72回大分県畜産共進会(乳用牛の部)を大分市廻栖野(みどりの王国)で開催
11月22日	大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会を大分市(県庁 正庁ホール)で開催
12月 2日	第59回大分県肉牛枝肉共励会を大阪南港市場で開催
12月 9日	豚凍結精液施設完成記念式典
12月21日	大分畜産Net”鼓動”研修会開催(別府市)



## 豊後牛のトマトカップ焼き



竹田市畜産女性部  
豊後牛料理自慢交流研修会 人気投票第1位

### 材 料 (4人分)

豊後牛モモ肉角切り	400g	ドレッシング A	
トマト	中 8 個	醤油	大さじ 4
小ネギ	3 本	砂糖	大さじ 2
にんにく	1 片	※ ごま油	大さじ 2
塩	少々	豆板醤	小さじ 2
サラダ	適量	かぼす汁	小さじ 2

### 作り方

- ①※の調味料を混ぜ合わせ、ドレッシングを作っておく。
- ②トマトを湯煎にかけ、皮をむいて半分に切り、なかをくり抜く。くり抜いたトマトは、アルミカップに置き、オーブントースターで5分焼く。
- ③その間に牛肉を1cm角に切り、塩をふっておく。
- ④フライパンにサラダ油を入れ、にんにくを香りが出るまで炒め、牛肉を入れて焦げ目が付く程度に焼く。
- ⑤火を止め、ドレッシングとトマトの中身を1cm角に切ったものをフライパンに入れて牛肉とからめる。
- ⑥トマトの器に⑤を入れ、小ネギのみじん切りをたっぷり乗せる。

## 豊後牛と甘太くんを使ったハンバーグ



豊後大野市畜産女性部  
豊後牛料理自慢交流研修会 人気投票第2位

### 材 料 (4人分)

豊後牛モモ肉	150g	塩	適宜
甘太くん(さつまいも)	100g	コショウ	適宜
トーフ	1/3 丁	ケチャップ	1 カップ
ニンジン	40g	ウスターソース	1/4 カップ
たまねぎ	大 1/4 コ	みりん	1/4 カップ
たまご	1 コ	さとう	大さじ 1 と 1/2
パン粉	15g		

### 作り方

- ①ニンジン・たまねぎ・甘太くんをフードプロセッサーでみじん切りにする。
  - ②①に豊後牛モモ肉のミンチを入れて一緒にまぜあわせる。
  - ③トーフ・たまご・パン粉を入れて、よくまぜあわせる。
  - ④4等分にわけフライパンで焼く。
  - ⑤ケチャップ、ウスターソース、みりん、さとうをなべに入れてソースをつくる。
- ※ポイントは、さつまいもの甘太くんを使ったこと、パサつきをなくすためトーフを使うこと。

## 豊後牛の春巻き揚げ



大分市畜産女性部  
豊後牛料理自慢交流研修会 審査員特別賞

### 材 料 (4人分)

豊後牛モモ肉スライス	400g	塩	適量
春巻きの皮	1 袋 (10 枚)	片くり粉	適量
椎茸	4 枚	油	適量
人参	1/2 本	みそマヨネーズ	適量
卵	2~3 個	ごまだれ	適量
インゲン	5~6 本	酢醤油	適量
紅しょうが	適量		

### 作り方

- ①巻きすの上に、春巻きの皮を広げ、上にスライス肉を置く。
- ②玉子焼き・紅しょうが・味付椎茸・塩茹でしたインゲン・人参を芯にして巻く。
- ③春巻きの皮の端を水溶き片くり粉で止める。
- ④油で揚げて4等分に切る。
- ⑤タレはお好みで(みそマヨネーズ、ごまだれ、酢醤油、その他)食する。



### ～The・おおいた豊後牛～

大分県の肉用牛生産は、中山間地域が多く、豊富な草資源を有するという特徴を背景として、古くより熱心に育種改良が行われてきました。その実績は、大正10年全国博覧会最優秀賞での「牛は豊後が日本一」という言葉に表わされ、これまで数多くの名牛を輩出してきました。

その歴史と伝統を新しいこのマークに込めて、大分県で生まれ育った肉質等級3等級以上の豊後牛をThe・おおいたブランドの代表選手として振興します。



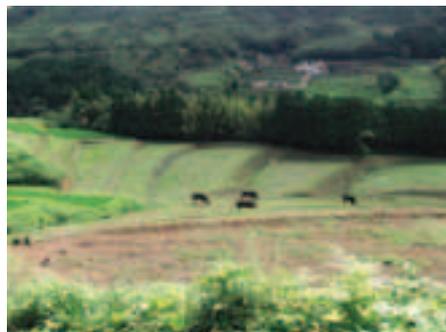
### ～「豊味の証」とは～

「The・おおいた豊後牛」の中で、**オレイン酸含有率が55%以上**の牛肉に「豊味の証」を表示します。

豊後牛の新しい「おいしさの基準」に適合した牛だけが、このマークを表示することができます。

## 大分の畜産 2011

(平成23年度版)



平成24年3月発行

編集・発行者 大分県 農林水産部 畜産振興課・家畜衛生飼料室

〒870-8501 大分市大手町3-1-1 TEL097-506-3674

印刷所 株式会社 インタープリンツ

※環境に配慮して再生紙を使用しています。